

学生の確保の見通し等を記載した書類

<目次>

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	P 2
(1) 本学大学院の現状把握・分析	P 2
(2) 地域・社会的動向等の現状把握・分析	P 2
(3) 医学薬学総合研究科の趣旨目的、教育内容、定員設定等	P 3
(4) 学生確保の見通し	P 6
ア 学生確保の見通しの調査結果	P 6
イ 医学系及び薬学系研究科の動向	P 9
ウ 競合校の状況	P 14
エ 既設研究科の学生確保の状況	P 15
(5) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	P 15
2. 人材需要の動向等社会の要請	P 17
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	P 17
(2) 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえた ものであることの客観的な根拠	P 18
(3) 採用意向把握のためのアンケート調査の実施	P 19

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 本学大学院の現状把握・分析

医学薬学総合研究科の母体である現行の医学研究科は、昭和35年4月に開設され、最初の卒業生が昭和39年3月に誕生した。以来、平成17年4月の修士課程開設及び博士課程改編を経て現在に至るまで、多数の修了生を送り出してきた。

現行の医学研究科は、3専攻が博士課程、1専攻が修士課程であるが、入学定員及び過去6年間の入学者数は(表1)のとおりである。

(表1) 現行の医学研究科の専攻、入学定員、過去6年間の入学者数等

専攻	課程	入学定員	入学者数						定員超過率 (6か年平均)
			H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	
地域医療総合医学	博士	14	12	6	7	12	9	3	58.3%
構造機能医学		10	3	1	1	2	0	3	16.7%
器官病態医学		18	13	17	20	30	14	23	108.3%
小計		42	28	24	28	44	23	29	69.8%
医科学	修士	14	9	9	10	7	7	3	53.6%

上記(表1)から言えることは、内科学、外科学など臨床系の器官病態医学専攻は年によって少ないときもあるが概ね入学定員を超える入学生を集めている。法医学、環境保健予防医学、麻酔科学などの地域医療総合医学専攻と医科学専攻は、入学定員の概ね5割超の入学者を集めている。一方で、基礎医学系の構造機能医学専攻は、入学定員の2割に届かない状況である。

今後の課題としては、(表1)からも明らかなように、基礎医学系の志願者獲得が最重要であり、次に修士の学位取得志願者や臨床系以外の志願者獲得が重要である。

(2) 地域・社会的動向等の現状把握・分析

紀伊半島に位置し、山間部を多く抱える和歌山県では、人口減少のスピードが早い傾向がある。本県の人口は長らく100万人台で推移してきたが、2011年(平成23年)に初めて100万人台を切り、以後減少を続け、2023年(令和4年)には約90万6千人となんとか90万人台をキープしている。一方で、国立社会保障・人口問題研究所の本県の将来推計人口は、2045年(令和26年)で68万8千人となっている。

特に、県南部の人口減少と高齢化が深刻である。

かねてから医師不足・地域偏在の解消を図るため、本学は和歌山県の医療部局と連携し、入学者選抜試験における地域医療枠や県民医療枠の設定、卒後9年間の県内キャリア形成研修の実施、修学資金貸与と返還免除制度、地域医療支援のための各種取組等により、県全体の均衡ある医師配置を推進し地域医療を維持発展させてきたところである。令和5年度入試より、特に医師不足が深刻な産科、小児科、精神科について新たに特別枠を設定して将来の産科医等の確保を図る取組を始めた。

また、令和3年度に開設した薬学部の設置目的に県南部の薬剤師不足の解消がある。県庁所在地である和歌山市を含む県北部の薬剤師は全国平均を若干上回るが、県南部の薬剤師不足が深刻であ

る。薬剤師として地域で活躍してきた薬剤師が高齢となって退職するものの、次を引き継ぐ者がいないため、病院の薬剤師に欠員が発生したり個人薬局を廃業せざるをえない状況となっている。そういった状況を解消するため、薬学部入試においても一定数を県内枠とし、卒後2年間の県内キャリア形成研修を行い、薬剤師の県内定着を図る計画である。

以上は学部を卒業し国家資格を取得した医師、薬剤師の県内定着推進についてであるが、医学薬学総合研究科の設置は、大学院教育の中で、より高度な教育を受け、より高度な研究力を獲得した医師、薬剤師、メディカルスタッフ職を県内医療機関に送り出し、地域保健医療の一層の向上を図ろうとするものである。

(3) 医学薬学総合研究科の趣旨目的、教育内容、定員設定等

本学の地域における役割と上記地域保健医療の現状と課題を踏まえ、高度先進的かつ医学・薬学横断的な研究能力、その基礎となる学識と研究倫理を備え、かつ広く世界に貢献する高度医療人及び生命医療科学・医学・薬学の研究者を育成することを目的として、医学薬学総合研究科を設置する。

教育内容は、医学と薬学について学生が選択する学問の深淵を極め高度な専門性を獲得することとともに、医学と薬学双方の知識と見識、研究手法を学び、分野横断的に活躍できる医療人や研究者を育成するためのカリキュラム構成とした。

医学薬学総合研究科は、従来の医学・医科学に、薬学・薬科学を統合し新たな研究科を開設するものである。入学定員の設定に当たっては、3課程にそれぞれ設置する医学系プログラム及び薬学系プログラムの目安となる入学定員数を検討しそれらを合計して3課程の入学定員とした(表2)。

(表2) 医学薬学総合研究科の入学定員

専攻	課程	定員設定	医学系・薬学系プログラムの目安	
			プログラム名	定員
生命医療学	博士	35	先進医学プログラム	30
			先進薬学プログラム	5
生命医療科学	博士前期	14	生命医科学プログラム	9
			生命薬科学プログラム	5
	博士後期	7	生命医科学プログラム	5
			生命薬科学プログラム	2
計		56		56

定員設定に当たっては、医学薬学総合研究科の目的、養成する人材像、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づいた教育研究体制が確保されること、また、教育研究施設設備の状況等、そして下記に示す過去の入学実績値や他大学院の状況を総合的に勘案した。

なお、プログラムの目安となる入学定員は、概ねの数字であり、実際の入学者数はこの定員から増減することがある。プログラムごとの上限は特に設けない。

①医学系プログラムの目安となる入学定員数の設定について

過去6年間の入学者の状況(表3)を勘案して決定した。

(表3) 現行 医学研究科の過去6年間の入学者数と定員超過率

専攻	課程	定員	入学者数						定員超過率		
			H29	H30	R1	R2	R3	R4			
地域医療総合医学	博士	14	12	6	7	12	9	3	定員×6年 (①)	全入学者 数(②)	率 (②/①)
構造機能医学		10	3	1	1	2	0	3			
器官病態医学		18	13	17	20	30	14	23			
小計		42	28	24	28	44	23	29	252	176	0.70
医科学	修士	14	9	9	10	7	7	3	84	45	0.54

上記の定員超過率から、現行の入学定員を博士課程で7割、修士課程（博士前期課程）で6割に見直し、博士課程先進医学プログラムを30名（現行42名の7割）、博士前期課程生命医科学プログラムを9名（現行14名の6割）とした。

次に、今回新たに設置する博士後期課程生命医科学プログラムは、教育研究体制や教育研究施設設備の状況、他の大学院博士後期課程の例（表4）を総合的に勘案し5名とした。

(表4) 医学系の博士後期課程の入学者数

区分	R3年度入学者数
広島大学大学院医系科学研究科生命医療科学プログラム	7
鳥取大学大学院医学系研究科医科学専攻	5
山形大学大学院医学系研究科先進的医科学専攻	5

注：各大学ホームページの情報をもとに本学にて作成

なお、博士課程先進医学プログラム及び博士前期課程生命医科学プログラムは、公立医学系大学院7校の入学定員（表5）のそれぞれの平均数とも比較を行ったが、特に大幅な差はなかった。

(表5) 7公立医学系大学院の入学定員

区分	入学定員	
	博士課程	修士課程
札幌医科大学大学院医学研究科	50	10
福島県立医科大学大学院医学研究科	60	20
横浜市立大学大学院医学研究科	100	10
名古屋市立大学大学院医学研究科	100	10
京都府立医科大学大学院医学研究科	70	10
大阪公立大学大学院医学研究科	70	12
奈良県立医科大学大学院医学研究科	40	5
平均	70.0	11.0

注：各大学ホームページの情報をもとに本学にて作成

②薬学系プログラムの目安となる入学定員数の設定について

薬学系プログラムについては、今回すべて新たに設置することとなるが、現在学年進行中であることも踏まえ、教育研究体制や教育研究施設設備の状況、博士課程並びに博士前期課程及び博士後

期課程を設置する他大学院の入学定員（表6）や薬学部を設置する公立大学で研究科を設置する3大学院の入学定員（表7）を総合的に勘案し、博士課程先進薬学プログラムを5名、博士前期課程生命薬科学プログラムを5名、博士後期課程同プログラムを2名とした。

（表6）統合型大学院の薬学系入学定員

区分	入学定員		
	博士課程	博士前期課程 ・修士課程	博士後期課程
広島大学大学院医系科学研究科	3	18	3
金沢大学大学院医薬保健学総合研究科	4	38	11
富山大学大学院総合医薬学研究科総合医薬学専攻	—	44	—
富山大学大学院医学薬学教育部	4	—	8

注：各大学ホームページの情報をもとに本学にて作成

（表7）3公立薬学系大学院の入学定員

区分	入学定員		
	博士課程	博士前期課程	博士後期課程
静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府	5	30	15
岐阜薬科大学大学院薬学研究科	5	3	5
名古屋市立大学大学院薬学研究科	10	47	12

注：各大学ホームページの情報をもとに本学にて作成

今、医学薬学総合研究科を新設しなければならない理由は、次のとおりである。

県立医科大学としてこれからの地域保健医療を先導して行くに当たり、従来からその役割を担ってきた医学研究科・医学部に、令和3年度に開設した薬学部の知識と研究力を統合し、まとまった一つの教育研究体制の中で、お互いの交流や連携、共同研究、切磋琢磨により一層レベルの高い大学院の教育研究を実現することが、本県の地域保健医療の維持・発展のために必要であり、公立大学としてその成果を県民のみならず世界に発信する必要があるためである。

医学薬学総合研究科は、地域保健医療等の課題解決に積極的に取り組み社会貢献を志す学生を受け入れる。入学生には、カリキュラム・ポリシーにより編成する教育課程において、研究方法や倫理観の取得、多職種連携や5疾病5事業など地域保健医療課題の学修、死因究明、疫学、データサイエンスや高齢者の健康科学、薬学系の基礎と臨床の特論、創薬科学など多種類のコースワークによる学びを提供する。学生はコースワークで培った能力を土台として、自らのテーマの研究を深め、成果を導き出し論文にまとめる。この全体のプロセスを経て、ディプロマ・ポリシーに定める幅広い知識と専門性、分野横断的な考察力と高い倫理観、優れた研究力の修得と成果を地域・世界に発信できる能力が取得できているかどうかについて、厳正に審査を行い学位が授与される。よって、医学薬学総合研究科の人材養成は、本県の現状・課題を踏まえた上で行われるプロセスであり、本県の地域保健医療の維持・発展に貢献するものである。

医学薬学総合研究科の入学金は282,000円（入学手続き時に納入）、年間授業料は535,800円（毎年5月と11月の2回で分納）としている。この額は、他の国公立大学と同額である。

(4) 学生確保の見通し

ア 学生確保の見通しの調査結果

①調査概要

医学薬学総合研究科への入学希望者の客観的なデータを得るため、紙媒体及びウェブアンケートにより、在学生及び社会人に対し入学意向アンケート調査を行った。【資料1】

対象者は、本学医学部在学生（1～6年生）、薬学部在学生（1～2年生）、近隣保健医療系大学学部在学生（1～3年生）、本学医学研究科修士課程在学生、県内病院医療従事者、県内薬局従事者、全国製薬関係企業従事者である。

アンケート調査は、アンケートの趣旨、養成する人材像、修了後の進路、カリキュラムの一例、学費、立地場所等の情報を明示し、令和4年8月から令和5年2月にかけて行った。

回答者は、1,374名（医学部・薬学部在学生517名、近隣医療系大学在学生305名、修士課程在学生5名、社会人547名）である。

②回答結果の分析

回答者全体のうち、前向きな入学意向回答数は（表8）のとおりである。

（表8）医学薬学総合研究科 アンケート集計（入学・進学ニーズ）

医学薬学総合研究科 博士課程への入学意向

区分	選択肢	先進医学プログラム	先進薬学プログラム	合計
本学 医学部在学生 薬学部在学生	1 学部卒業後すぐに入学したい	10	10	20
	2 就職後落ち着いてから入学したい	26	7	33
	3 入学を検討する	30	36	66
社会人	1 入学したい	7	7	14
	2 入学を検討する	18	12	30
計		91	72	163

医学薬学総合研究科 博士前期課程への入学意向

区分	選択肢	生命医科学プログラム	生命薬科学プログラム	合計
近隣医療系大学 学部在学生	1 学部卒業後すぐに入学したい	6	3	9
	2 就職後落ち着いてから入学したい	9	2	11
	3 入学を検討する	10	1	11
社会人	1 入学したい	15	2	17
	2 入学を検討する	9	11	20
計		49	19	68

医学薬学総合研究科 博士後期課程への入学意向

区分	選択肢	生命医科学プログラム	生命薬科学プログラム	合計
近隣医療系大学 学部在学生	1 進学を希望する	1	3	4
	2 できれば進学したい	18	3	21
本学医学研究科 修士課程在学生	1 修士課程修了後すぐに入学したい	0	0	0
	2 修士課程修了後しばらくしてから入学したい	1	0	1
	3 入学を検討する	2	0	2
社会人	1 入学したい	2	1	3
	2 入学を検討する	4	2	6
社会人 (修士課程 修了後)	1 すぐに博士後期課程に入学したい	0	0	0
	2 数年後には博士後期課程に入学したい	3	1	4
	3 状況によっては博士後期課程の入学を考える	13	4	17
計		44	14	58

※上記学部生及び修士課程在学生にあつては、卒業・修了後又は博士前期課程修了後の進学希望

まず、R6年度開設時の1期生の定員充足について、在学生にあっては開設時に入学可能な学年（本学医学部では5・6年生、本学医学研究科修士課程生、近隣医療系大学では3年生）が「すぐ入学したい」「入学を検討する」と回答した件数、社会人にあっては「入学したい」「入学を検討する」と回答した件数を上記3つの表から抽出して（表9）の小計のとおり整理した。

（表9）医学薬学総合研究科 1期生となる対象者のアンケート集計（入学・進学ニーズ）

区分	「すぐ入学したい」 「入学したい」	「入学を検討する」	小計	「就職後落ち着いてから入学したい」	計
博士課程	15	36	51	7	58
博士前期課程	20	21	41	3	44
博士後期課程	3	8	11	1	12

「すぐ入学したい」「入学したい」と回答した者の数は設定した3課程の入学定員を超えていないが、「入学を検討する」と回答した者の数を加えると3課程とも入学定員を超えている。

また、アンケート調査で学位取得に「とても関心がある」と回答し、かつ「入学を検討する」と回答した者の数は（表10）のとおりである。これらの回答者は、「入学したい」と回答した者に次いで、医学薬学総合研究科へ入学する可能性が高いグループと考えられる。このうち社会人は特に第1期生として期待できる。これらの数に「入学したい」と回答した者を加えると同表の計に記載した数となる。

（表10）「(学位取得に)とても関心がある」と「入学を検討する」のクロス集計等

○社会人

区分	「とても関心がある」	→	「入学を検討する」	「入学したい」	計
博士課程	57	→	11	14	25
博士後期課程		→	3	3	6
博士前期課程	50	→	7	17	24
計	57		14	34	48

○医学部・薬学部生、医学研究科修士課程生、近隣4年制大学医療系学部生

区分	「とても関心がある」	→	「入学を検討する」	「すぐ入学したい」 「入学したい」	計
博士課程	64	→	21	20	41
博士後期課程	3	→	1	0	1
博士前期課程	24	→	6	9	15
計	67		22	29	51

今後、これら回答者の多数が入学志願するよう、以下（5）の情報提供など学生確保の取組を積極的に行うとともに、これら以外の対象者にも積極的に働きかけ、より多くの志願者確保に取り組む。特に、入学に強い意思は持っていないものの、高い関心を持っている者には、情報提供等によりさらに関心を高める取組を行うことで入学者の確保につなげていく。

よって、従来からの医学研究科入学者数の実績数、上記アンケート結果及び情報提供など今後の積極的な取組等を考え合わせると、開設年度の定員充足を十分に見込むことができる。

一方で、「就職後落ち着いてから入学したい」や現在の学部を卒業後に「すぐ入学したい」「入学したい」と回答した者が一定数あり、開設2年日以降の入学志願候補者として、上記の取組を継続して実施することにより将来的にも安定した学生確保が達成できるものとする。

③プログラムごとの定員充足状況

プログラムごとの入学定員の目安数は（表11）のとおりである。

（表11）プログラムの入学定員の目安数

区分	定員	各プログラムの目安数	
博士課程	35	先進医学プログラム	30
		先進薬学プログラム	5
博士前期課程	14	生命医科学プログラム	9
		生命薬科学プログラム	5
博士後期課程	7	生命医科学プログラム	5
		生命薬科学プログラム	2
計	56		56

回答者全体のプログラムごとの入学意向の状況は前掲（表8）のとおりであるが、ここからプログラムごとに、R6年度開設時の1期生の定員充足について、在学生にあっては開設時に入学可能な学年（本学医学部では5・6年生、本学医学研究科修士課程生、近隣4年制大学では3年生）が「すぐ入学したい」「就職後落ち着いてから入学したい」「入学を検討する」と回答した件数、社会人にあっては「入学したい」「入学を検討する」と回答した件数を上記3つの表から抽出して（表12）の小計のとおり整理した。

（表12）医学薬学総合研究科 1期生となる対象者のプログラム別アンケート集計（入学・進学ニーズ）

区分		「すぐ入学したい」 「入学したい」	「入学を検討する」	小計	「修士課程修了後や 就職後落ち着いてか ら入学したい」	合計
博士課程	先進医学プログラム	8	24	32	7	39
	先進薬学プログラム	7	12	19	0	19
	計	15	36	51	7	58
博士前期課程	生命医科学プログラム	16	10	26	3	29
	生命薬科学プログラム	4	11	15	0	15
	計	20	21	41	3	44
博士後期課程	生命医科学プログラム	2	6	8	1	9
	生命薬科学プログラム	1	2	3	0	3
	計	3	8	11	1	12

「すぐ入学したい」「入学したい」と回答した者の数は、先進薬学プログラム及び生命医科学プログラムで超え、その他で超えていないが、「入学を検討する」と回答した者の数を加えると6プログラムの入学定員目安数（表2）をすべてで超えている。

また、アンケート調査で学位取得に「とても関心がある」と回答し、かつ「入学を検討する」と回答した者のプログラムごとの数は（表13）のとおりである。これらの回答者は、「入学したい」と回答した者に次いで、医学薬学総合研究科へ入学する可能性が高いグループと考えられる。

このうち社会人は特に第1期生として期待できる。これらの数に「入学したい」と回答した者を加えると同表の計に記載した数となる。

(表13) 「(学位取得に)とても関心がある」と「入学を検討する」のプログラム別クロス集計

○社会人

区分		「とても関心がある」		「入学を検討する」	「入学したい」	計
博士課程	先進医学プログラム	57	→	10	7	17
	先進薬学プログラム		→	1	7	8
博士後期課程	生命医科学プログラム		→	2	2	4
	生命薬科学プログラム	→	1	1	2	
博士前期課程	生命医科学プログラム	50	→	4	15	19
	生命薬科学プログラム		→	3	2	5

○医学部・薬学部生、医学研究科修士課程生、近隣4年制大学医療系学部生

区分		「とても関心がある」		「入学を検討する」	「すぐ入学したい」 「入学したい」	計
博士課程	先進医学プログラム	64	→	10	10	20
	先進薬学プログラム		→	11	10	21
博士後期課程	生命医科学プログラム	3	→	1	1	2
	生命薬科学プログラム		→	0	3	3
博士前期課程	生命医科学プログラム	24	→	6	6	12
	生命薬科学プログラム		→	0	3	3

今後、これら回答者の多数が入学志願するよう、以下(5)の情報提供などの学生確保の取組を積極的に行うとともに、これら以外の対象者にも積極的に働きかけ、より多くの志願者確保に取り組む。特に、入学に強い意思は持っていないものの、高い関心を持っている者には、情報提供等によりさらに関心を高める取組を行うことで入学者の確保につなげていく。

よって、従来からの医学研究科入学者数の実績数、上記アンケート結果及び情報提供など今後の積極的な取組等を考え合わせると、開設年度の各プログラムごとの定員充足を十分に見込むことができる。

一方で、「就職後落ち着いてから入学したい」や「修士課程修了後すぐに入学したい」「修士課程修了後しばらくしてから入学したい」と回答した者が一定数あり、開設2年目以降の入学志願候補者として、上記の取組を継続して実施することにより将来的にも安定した学生確保が達成できるものとする。

イ 医学系及び薬学系研究科の動向

近隣(近畿圏)の他の国公立医学系大学院7校の志願状況(表14)を見ると、博士課程では、毎年概ね定員超過の状況にあるが、年に1校程度で若干の定員割れが発生している。修士課程では、6校中2校が毎年6割から8割程度の充足率となっている。このことから、近畿圏の医学系国公立大学院の志願者動向は比較的安定しているといえる。

全国的な状況では、「2020年医学部・医学科学生アンケート調査」（医学部・医科大学の白書調査ワーキング実施）に学位取得や研究者希望に関する調査があり、結果は次のとおりである。全国の全学年に対し実施し、回答数は6,576名であった。【資料3】

- ・設問11「将来、博士（医学）の学位取得を目指していますか。」
ぜひ取得したい：16.1% できれば取得したい：29.6%
将来的には視野に入れている：23.3% →前向きな回答の計：69.0%
- ・設問12「将来、基礎医学研究者になることを考えていますか。」
強く考えている：2.4% 少し考えている：15.3% →前向きな回答の計：17.7%

この調査結果から、博士の学位を現役医学部生の7割が取得したいと考えていること、及び志願者が近年減少傾向にある基礎医学研究者は、それでも2割に近い学生が将来の選択肢の一つに入れているということがわかる。

本学は現行医学研究科で博士課程が7割、修士課程が6割程度の充足率のため、(表14)の大学の中では充足率が低い部類に位置する。よって、医学薬学総合研究科の定員設定において、過去の入学者の実績をもとに見直しを行ったことにより、安定的な志願者確保につなげることが可能である。

次に、近隣（近畿圏）の他の国公立薬学系大学院12校及び全国の公立薬学系大学院3校の志願状況(表15)を見ると、博士課程では、入学定員を多くても10名、ほとんどが1桁に設定している状況で、一部の私立では入学者が0名という年もあるが、最も多いところで12名、ほとんどが2名から9名の間で入学者確保を行っている。

博士前期課程では、入学定員にばらつきがあり、大阪大学の75名を筆頭に、50、47、30、20、15、10名など2桁が多くを占め、5名が2校、3名が1校である。入学者数は、国公立ではほぼ定員超過状態で推移しているが、私立においては0名のところも散見される一方で1.5倍近くを確保する大学もある。

博士後期課程では、入学定員は国公立が20名や15名など2桁が多く、私立はすべて2名である。入学者は国公立と私立の一部で十分な確保がなされている一方で、私立の一部で0名の年も散見される。

以上の分析より、医学薬学総合研究科の薬学系では学部が現在学年進行中であることを考慮し入学定員を1桁に抑えて設定したこと、他の国公立の定員充足状況が概ね安定していることから、安定的な志願者確保につなげることが可能である。

(表14) 近隣（国公立）の医学系大学院の志願状況

【博士課程】

区分	研究科・専攻	入学定員	入学者数及び定員超過率等				
					H31年度	R2年度	R3年度
近隣公立大学院	京都府立医科大学 医学研究科統合医科学専攻	70名	-	-	H31年度	R2年度	R3年度
			-	-	86名	73名	82名
			-	-	122.9%	104.3%	117.1%
近隣公立大学院	旧大阪市立大学 (現大阪公立大学) 旧医学研究科基礎医科学専攻/臨床医科学専攻	70名	R4年度に開設した新大学院設置認可申請書より 旧医学研究科の定員超過率				
			基礎医科学専攻博士課程30名		33.0%	※新設20名	
			臨床医科学専攻博士課程40名		137.0%	※新設50名	
近隣公立大学院	奈良県立医科大学 医学研究科医科学専攻	40名	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
			43名	44名	47名	68名	49名
			107.5%	110.0%	117.5%	170.0%	122.5%
近隣国立大学院	滋賀医科大学 医学系研究科医学専攻	30名	R4年度				
			23名				
			76.7%				
	京都大学 医学研究科医学専攻/ゲノム医学国際連携専攻	170名	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
			188名	188名	154名	164名	179名
			110.6%	110.6%	90.6%	96.5%	105.3%
	大阪大学 医学系研究科医学専攻	172名	-	-	R2.4月入学	R3.4月入学	R4.4月入学
			-	-	195名	182名	167名
			-	-	113.4%	105.8%	97.1%
	神戸大学 医学研究科医科学専攻	100名	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
109名			110名	107名	112名	108名	
109.0%			110.0%	107.0%	112.0%	108.0%	

※上記数値は、各大学ホームページの情報を本学にて集計・作成。網掛けは100%を割っているところ。

【修士課程】

区分	研究科	入学定員	入学者数及び定員充足率				
					H31年度	R2年度	R3年度
近隣公立	京都府立医科大学 医学研究科医科学専攻	10名	-	-	H31年度	R2年度	R3年度
			-	-	5名	8名	6名
			-	-	50.0%	80.0%	60.0%
近隣公立	旧大阪市立大学 (現大阪公立大学) 旧医学研究科医科学専攻	12名	R4年度に開設した新大学院設置認可申請書より 旧医学研究科の定員超過率				
			医科学専攻修士課程		104.0%	※新設12名	
近隣公立	奈良県立医科大学 医学研究科医科学専攻	5名	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
			6名	10名	7名	8名	6名
			120.0%	200.0%	140.0%	160.0%	120.0%
近隣国立	滋賀医科大学	※医学系専攻は開設していない	-				
	京都大学 医学研究科医科学専攻	20名	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
			25名	20名	28名	27名	28名
			125.0%	100.0%	140.0%	135.0%	140.0%
	大阪大学 医学系研究科医科学専攻	20名	-	-	R2.4月入学	R3.4月入学	R4.4月入学
			-	-	25名	29名	23名
			-	-	125.0%	145.0%	115.0%
	神戸大学 医学研究科バイオメディカルサイエンス専攻	25名	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
			18名	22名	16名	14名	18名
72.0%			88.0%	64.0%	56.0%	72.0%	

※上記数値は、各大学ホームページの情報を本学にて集計・作成。網掛けは100%を割っているところ。

(表15) 近隣（国私立）及び公立の薬学系大学院の志願状況

【博士課程】

区分	研究科・専攻	入学定員	入学者数及び定員超過率						
			H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度		
近隣 国立 大学院	京都大学	薬学研究科薬科学専攻	8名	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	
				12名	8名	8名	9名	4名	
				150.0%	100.0%	100.0%	112.5%	50.0%	
	大阪大学	薬学研究科医療薬学専攻	10名	-	-	R2.4月入学	R3.4月入学	R4.4月入学	
				-	-	5名	2名	4名	
				-	-	50.0%	20.0%	40.0%	
公立 大学院	静岡県立大学	薬食生命科学総合学府 薬学専攻	5名	R4.5.1現在の学生数					
				1年	2年	3年	4年	-	
				6名	12名	8名	5名	-	
				120.0%	240.0%	160.0%	100.0%	-	
	岐阜薬科大学	薬学研究科薬学専攻	5名	R2.5.1現在の入学者数					
				4名					
				80.0%					
	名古屋市立大学	薬学研究科医療機能薬学専攻	10名 ※収容定員 40名	R4.5.1現在の学生数 ※全学生数					
				36名					
				90.0%					
	近隣 私立 大学院	京都薬科大学	薬学研究科薬学専攻	10名	R4.5.1現在の学生数				
					1年	2年	3年	4年	-
10名					10名	11名	11名	-	
100.0%					100.0%	110.0%	110.0%	-	
立命館大学		※博士課程開設していない	-	-	-	-	-	-	
大阪医科薬科大学		薬学研究科薬学専攻	3名	R4.5.1現在の学生数					
				1年	2年	3年	4年	-	
				7名	3名	2名	1名	-	
				233.3%	100.0%	66.7%	33.3%	-	
近畿大学		薬学研究科薬学専攻	3名	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	
				5名	5名	6名	5名	2名	
				166.7%	166.7%	200.0%	166.7%	66.7%	
大阪大谷大学		薬学研究科薬学専攻	3名	R4.5.1現在の学生数					
				1年	2年	3年	4年	-	
				2名	0名	2名	5名	-	
				66.7%	0.0%	66.7%	166.7%	-	
摂南大学		薬学研究科医療薬学専攻	4名	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	
				3名	2名	2名	2名	3名	
				75.0%	50.0%	50.0%	50.0%	75.0%	
神戸学院大学		薬学研究科薬学専攻	3名			R2年度	R3年度	R4年度	
					4名	1名	4名		
					133.3%	33.3%	133.3%		
神戸薬科大学	薬学研究科薬学専攻	3名	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度		
			4名	6名	6名	3名	3名		
			133.3%	200.0%	200.0%	100.0%	100.0%		
武庫川女子大学	薬学研究科薬学専攻	2名	-	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度		
			-	0名	0名	1名	0名		
			-	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%		
兵庫医科大学	薬学研究科薬学専攻	3名	R4.5.1現在の学生数						
			1年	2年	3年	4年	-		
			4名	1名	3名	2名	-		
			133.3%	33.3%	100.0%	66.7%	-		

※上記数値は、各大学ホームページの情報を本学にて集計・作成。網掛けは100%を割っているところ。

【博士前期課程】

区分	研究科	入学定員	入学者数及び定員超過率					
			H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	
近隣 国立 大学院	京都大学	薬学研究科薬科学専攻	50名	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
				72名	65名	53名	60名	59名
				144.0%	130.0%	106.0%	120.0%	118.0%
	大阪大学	薬学研究科創成薬学専攻	75名	-	-	R2.4月入学	R3.4月入学	R4.4月入学
				-	-	75名	63名	75名
				-	-	100.0%	84.0%	100.0%
公立 大学院	静岡県立大学	薬食生命科学総合学府 薬科学専攻	30名	R4.5.1現在の学生数				
				1年	2年	-	-	-
				40名	43名	-	-	-
				133.3%	143.3%	-	-	-
	岐阜薬科大学	薬学研究科薬科学専攻	3名	R2.5.1現在の入学者数				
				22名				
				733.3%				
	名古屋市立大学	薬学研究科創薬生命科学専攻	47名 ※収容定員 94名	R4.5.1現在の学生数 ※全学生数				
				88名				
				93.6%				
近隣 私立 大学院	京都薬科大学	薬学研究科薬科学専攻	5名	R4.5.1現在の学生数				
				1年	2年	-	-	-
				0名	0名	-	-	-
				0.0%	0.0%	-	-	-
	立命館大学	薬学研究科薬科学専攻	20名	R4.5.1現在の学生数				
				1年	2年	-	-	-
				29名	31名	-	-	-
				145.0%	155.0%	-	-	-
	大阪医科薬科大学	薬学研究科薬科学専攻	5名	R4.5.1現在の学生数				
				1年	2年	-	-	-
				0名	0名	-	-	-
				0.0%	0.0%	-	-	-
	近畿大学	薬学研究科薬科学専攻	15名	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
				21名	22名	13名	15名	10名
				140.0%	146.7%	86.7%	100.0%	66.7%
	大阪大谷大学	※博士前期課程開設していない	-	-	-	-	-	
	摂南大学	※博士前期課程開設していない	-	-	-	-	-	
	神戸学院大学	※博士前期課程開設していない	-	-	-	-	-	
	神戸薬科大学	薬学研究科薬科学専攻	5名	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
				1名	1名	0名	2名	2名
				20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%
武庫川女子大学	薬学研究科薬科学専攻	30名	-	-	-	R3年度	R4年度	
			-	-	-	8名	3名	
			-	-	-	26.7%	10.0%	
兵庫医科大学	※博士前期課程開設していない	-	-	-	-	-		

※上記数値は、各大学ホームページの情報を本学にて集計・作成。網掛けは100%を割っているところ。

【博士後期課程】

区分		研究科	入学定員	入学者数及び定員超過率					
近隣 国立 大学院	京都大学	薬学研究科薬科学専攻	12名	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	
				11名	17名	21名	22名	17名	
				91.7%	141.7%	175.0%	183.3%	141.7%	
	大阪大学	薬学研究科創成薬学専攻	20名	-	-	R2.4月入学	R3.4月入学	R4.4月入学	
				-	-	16名	18名	21名	
				-	-	80.0%	90.0%	105.0%	
公立 大学院	静岡県立大学	薬食生命科学総合学府 薬科学専攻/薬食生命科 学専攻	15名	R4.5.1現在の学生数					
				1年	2年	3年	-	-	
				10名	15名	18名	-	-	
				66.7%	100.0%	120.0%	-	-	
	岐阜薬科大学	薬学研究科薬科学専攻	5名	R2.5.1現在の入学者数					
				9名					
				180.0%					
	名古屋市立大学	薬学研究科創薬生命科 学専攻/共同ナノメディシ ン科学専攻	12名 ※収容定員 36名	R4.5.1現在の学生数 ※全学生数					
				27名					
				75.0%					
	近隣 私立 大学院	京都薬科大学	薬学研究科薬科学専攻	2名	R4.5.1現在の学生数				
					1年	2年	3年	-	-
1名					0名	0名	-	-	
50.0%					0.0%	0.0%	-	-	
立命館大学		※博士後期課程開設していない	-	-	-	-	-	-	
大阪医科薬科大学		薬学研究科薬科学専攻	2名	R4.5.1現在の学生数					
				1年	2年	3年	-	-	
				3名	0名	4名	-	-	
				150.0%	0.0%	200.0%	-	-	
近畿大学		薬学研究科薬科学専攻	2名	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	
				2名	5名	5名	1名	3名	
				100.0%	250.0%	250.0%	50.0%	150.0%	
大阪大谷大学		※博士後期課程開設していない	-	-	-	-	-	-	
摂南大学		※博士後期課程開設していない	-	-	-	-	-	-	
神戸学院大学		※博士後期課程開設していない	-	-	-	-	-	-	
神戸薬科大学		※博士後期課程開設していない	-	-	-	-	-	-	
武庫川女子大学	薬学研究科薬科学専攻	2名	-	-	R2年度	R3年度	R4年度		
			-	-	4名	1名	0名		
			-	-	200.0%	50.0%	0.0%		
兵庫医科大学	※博士後期課程開設していない	-	-	-	-	-	-		

※上記数値は、各大学ホームページの情報を本学にて集計・作成。網掛けは100%を割っているところ。

ウ 競合校の状況

近畿圏の医学系及び薬学系国公立大学院や全国の薬学系公立大学院、近畿圏の薬学系私立大学院が競合校と考えられる。上記イの動向での説明のとおり、国公立の大学院は概ね安定した入学者を獲得しており、医学薬学総合研究科においても安定した入学者確保をすることが可能である。

エ 既設研究科の学生確保の状況

前掲1(1)の(表1)を再掲する。

(表1) 現行の医学研究科の専攻、入学定員、過去6年間の入学者数等

専攻	課程	入学定員	入学者数						定員超過率 (6年平均)
			H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	
地域医療総合医学	博士	14	12	6	7	12	9	3	58.3%
構造機能医学		10	3	1	1	2	0	3	16.7%
器官病態医学		18	13	17	20	30	14	23	108.3%
小計		42	28	24	28	44	23	29	69.8%
医科学	修士	14	9	9	10	7	7	3	53.6%

先にも述べたとおり、基礎医学系の構造機能医学専攻は、入学定員の2割に届かない状況があり、今後の課題として基礎医学系の志願者獲得が最重要である。

基礎医学系の志願者獲得に向けて、本学では、主に次の2つにおいて積極的な取組を行っている。

・医学部3年次の基礎配属での魅力発信

これは医学教育カリキュラムの一つであり、研究マインド涵養、基礎医学知識の獲得や問題解決能力の獲得等を目的としているが、加えて、基礎医学の重要性や魅力を伝えることにより、基礎医学研究者を目指す学生を育成する貴重な場となっている。本学では教員もその目的を十分認識し、将来の基礎医学研究者の卵の発掘に積極的に取り組んでいる。

・医学部基礎懇談会による基礎系講座の研究推進

基礎系講座と先端医学研究所の各研究部の教員が集まり研究推進の方策等について意見交換を行うものである。この中で具体的施策として、共同利用可能で有用な研究機器を選定し学内に向け予算要望を行うことなども実施している。このように基礎医学系講座自身の研究力アップ、発表論文数の増加、医学部生から見た魅力のアップを目標に掲げ、基礎系教員一丸となって取り組んでいる。

現行医学研究科に代わり、新たに医学薬学総合研究科を開設する効果とともに、上記基礎系講座の積極的な取組により、引き続き基礎医学系の志願者増加を図っていく。

(5) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

下記の取組を積極的に実施することにより十分な志願者確保につなげる効果が期待できる。

① ホームページや説明会での広報による情報提供の取組

従来から大学のホームページを立ち上げ、大学院の研究科ごとに志願者や学内履修生、学外一般向けに広報を行ってきたところである。現行の医学研究科においては、研究科の概要、講義、修了要件、入試関連情報、学位授与の状況、論文の要旨などを掲載している。今後は、ホームページの充実、パンフレットの作成配布、学部生や大学院生のオリエンテーションでの説明、学部向けの進学説明会や高校訪問時の説明などを医学薬学総合研究科の魅力発信の機会ととらえ、積極的な広報活動により情報提供を進める。

② 留学生を対象とした取組

現行の医学研究科に過去6年間で修学した外国人留学生の件数は(表16)のとおりである。入学がない年もあるが、概ね1~2名を受入れている。これらは教員の外国の大学等との共同研究や交流活動の中で受入れを実現させてきたものである。新型コロナウイルスによる影響が長引く中、ここ数年は低調に推移してきたが(一方でWEB交流会の実績あり)、今後、コロナ前に復調していく中で、医学薬学総合研究科の魅力発信を積極的に行い、外国からの大学院への進学を促進する。

(表16) 外国人留学生の入学状況(医学研究科)

課程	H29	H30	R1	R2	R3	R4
博士	1	1	1		1	1
修士		1			1	
計	1	2	1	0	2	1

また、本学では外国在住者の入試における利便性を向上させるため、令和5年度入試から博士課程においてオンライン方式の受験制度を開始した。今までは入試のために来日していたが、外国においてオンライン受験できることとなり、来日の必要がなくなった。医学薬学総合研究科においては、3課程とも外国在住者向けのオンライン方式を採用し、志願者獲得を進める。

③ 大学院準備過程(M.D-Ph.Dコース)推進による取組

本学が従来から運営している大学院準備過程は、本学医学部に在籍しながら大学院の講義の受講や研究、論文作成を行うことにより、学部生でありながら大学院の課程を先取りすることができる登録制度である。医学部1年生から4年生までが対象で、講義に10回以上出席し、研究論文を作成する。当該論文が医学研究科で認定されれば、修学証明書が交付される。学部卒業後に大学院に進学し、一定の要件を満たせば早期修了が可能である。

以上のように、学部生のうちから大学院に親しみ、研究マインドをいち早く獲得し、医師業務との両立の中で円滑に大学院を修了できる制度である。令和5年2月末現在、医学部全体で52名の登録者がいる。医学薬学総合研究科において、より一層の登録者獲得に向け積極的に取り組む。

④ 修学支援に関する取組

本学では従来から「和歌山県立医科大学大学院入学金減免事務処理基準」及び「和歌山県立医科大学大学院授業料減免事務処理基準」を定め、家計基準が一定の水準を下回る者で、かつ成績が優秀なものに対し、全額免除や半額免除することとし、金銭的理由から修学を断念することがないよう支援制度を運営してきた。医学薬学総合研究科においても、引き続き減免制度を適用し、修学支援を実施する。

⑤ 教員による大学院への進学気運の醸成

教員一丸となって、日頃から学生、病院勤務の研修医、専攻医、メディカルスタッフ職、地域医療枠等の卒業研修生と接する中で医学薬学総合研究科の教育課程等の魅力を伝えるとともに、学修意欲を高め、大学院を志す気運を醸成することにより一層の志願者増加につなげていく。

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

社会的動向等を踏まえ2専攻3課程ごとに定めた目的は次のとおりである。

①生命医療学専攻博士課程

日々進歩する医学・薬学・医療の分野でこれから必要とされる人材は、卓越した専門的知識や見識とともに、分野横断的な深い考察力を持ち、国際的・学際的観点から、医学・薬学・医療を基礎的・臨床的・トランスレーショナルに研究できる人材である。また地域の拠点となる医療機関・中核病院として地域住民の健康を守っていくためには、地域の医療事情・課題にリーダーシップをもって向き合い、高度チーム医療の実践によってその解決を目指すとともに、先端的な医学・薬学研究、高度先進医療、地域保健医療を国際的に研究し、その成果をもって、広く地域や世界に貢献ができる先端医学・薬学研究者及び高度医療人が必要とされている。

以上の背景を踏まえ、本課程では、高度先進的かつ分野横断的な大学院教育により、共同研究のリーダーとして国際的に活躍できる先端医学・薬学研究者、高度先進医療・地域保健医療の現場で医療チームのリーダーとして活躍できる高度医療人又は大学等の高度な教育者等を育成する。

②生命医療科学専攻博士前期課程

昨今の医科学・薬科学における技術の進歩はめざましく、この流れに迅速に対応するためには、時代に応じた最先端の教育研究の推進が不可欠であり、医科学・薬科学における幅広い視野を有した様々なバックグラウンドを持つ研究者の養成が求められている。また本学は県内唯一の医療系総合大学として、県内の地域保健医療体制の堅持や県民の健康福祉の向上などの重要な使命を担っており、少子高齢化による疾病構造の変化や医師・診療科の偏在などの課題に対応するためには、多職種連携によるチーム医療の推進や地域保健医療を担う医療人材の育成が求められている。

以上の背景を踏まえ、本課程では、地域の保健医療課題に立脚した分野横断的な大学院教育により、共同研究において地域保健医療を推進できる優れた生命医療科学（医科学・薬科学）研究者又は地域保健医療の現場で医療チームを支える重要な一員として活躍できる優れた専門職医療人等を育成する。

③生命医療科学専攻博士後期課程

近年、医療は生命科学分野における研究の発展により飛躍的に進歩しており、遺伝子工学に基づく再生医療や各人の特性に応じたカスタムメイド治療の進歩が著しい。このような高度先進医療の中において、新規医薬品創製はますますその重要性を増してきている。時代に応じた最先端の教育研究の推進が不可欠であり、分野の垣根を越えて国際的に活躍できる研究者の養成が求められている。また、本学は県内唯一の医療系総合大学として、県内の地域保健医療体制の堅持や地域住民の健康増進などの重要な使命を担っており、少子高齢化による疾病構造の変化や医師・診療科の偏在などの課題に対応するためには、多職種連携によるチーム医療の推進や地域保健医療を中心的に担う高度医療人材の育成が求められている。

以上の背景を踏まえ、本課程では、高度先進的かつ分野横断的な大学院教育により、共同研究のリーダーとして国際的に活躍できる高度生命医療科学（医科学・薬科学）研究者、高度先進医療・地域保健医療の現場で医療チームの主要メンバーとして活躍できる高度専門職医療人又は大学等の高度な教育者等を育成する。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

①日本社会及び和歌山県が直面する課題と県立大学の使命

日本社会は少子化による人口減少と全人口に占める高齢者割合の増加の局面にあり、山間部を多く抱える和歌山県においてその傾向は特に著しい。本県の人口減少の傾向は上記1(2)で述べたとおりである。

持続可能な社会形成が目標とされる中、危機的状況にある地方の再生・活性化を成し遂げ、元気のある和歌山県を創出するためには、医・薬・看3学部とともに医学・薬学統合型と看護系の大学院研究科を擁する医療系総合大学として、地域医療や地域保健福祉の維持発展、充実した教育の場の提供はもとより、地域産業の振興、イノベーションの創出など地域活性化への貢献が県立大学として大いに期待されている。また、各自の就労先等で主体的に活躍し地域振興を支えることができる修了生を養成し地域社会等に送り出すことが高等教育機関としての本学の使命であると考えられる。

②県立医科大学として地域医療を支え高度に発展させる医療人養成の必要性

全国的な健康寿命の延伸の中、高齢者になっても住み慣れた地域で自分らしく健康で暮らせる社会構築が喫緊の課題である。一方で疾患治療の主要課題である3タイプのがん(悪性腫瘍、希少がん及びAYA世代のがん)や本県の一部地域に発症例が多いALS(筋萎縮性側索硬化症)をはじめ、医療の根幹である5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)5事業(救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児救急医療を含む小児医療)など、県立医科大学に期待される課題解決のテーマは多岐にわたる。医学と薬学を統合し、分野横断的な観点からこれらの課題解決に立ち向かい、地域の医療機関、健康・医療関連企業等を牽引できる医療専門職や先端医学・高度先進医療・地域保健医療・薬学の研究者を養成することが地域・県民の要請に応えるものである。

③薬学系を履修した者の就職動向

文部科学省「薬学系人材のあり方に関する検討会」の「薬学関連資料」(R4.8.16)では、P25以降に卒業生の就職状況の説明がある。【資料4】

薬学系大学6年制学科卒業生(令和3年3月)の就職先として多いものを3つ挙げると、薬局50.5%、病院・診療所18.5%、医薬品・化学関連企業7.5%となっている。4年制学科卒業生の就職先としては、進学74.7%、医薬品・化学関連企業11.0%、その他7.6%となっている。

薬学系大学院修士課程修了者(令和3年3月)の就職先としては、製薬企業(研究・開発)37.6%、進学者22.3%、その他の職業18.7%となっている。

薬学系大学院博士課程修了者(令和3年3月)の就職先としては、教育・研究職36.0%、製薬企業(研究・開発)17.8%、病院薬局・薬剤部15.3%となっている。(※本学で資料人数からパーセンテージを算出)

以上のことから、6年制卒業生は薬局や病院などに就職する者が多く、4年制卒業生は進学希望者が7割を超え、修士課程修了者は製薬企業や博士後期課程に進み、博士課程修了者は教員になる者、製薬企業や病院に進む者が多いという特徴が見られる。

医学薬学総合研究科では、学部卒業後就職をせずに大学院に進学する者に加え、薬局、病院勤務の社会人、製薬企業勤務者も学修に取り組める受け入れ体制をとっている。様々な背景を持つ入学者に高度な知識と研究力を獲得してもらい、地域や世界に貢献する医療人や研究者を育成することが設置の趣旨である。

よって、医学薬学総合研究科の設置は、薬学系大学卒業生等の就職動向や社会ニーズを踏まえた上で実施するものである。

(3) 採用意向把握のためのアンケート調査の実施

医学薬学総合研究科修了生の採用意向を把握するために、事業所を対象にアンケート調査を実施した。調査対象は、和歌山県病院協会会員病院（81事業所）、和歌山県内薬局（465事業所）、全国製薬関係企業（554事業所）である。調査期間は、令和4年8月～9月である。回答件数は、144件であった。【資料2】

回答事業所（144件）の種別については、「薬局」71件（49.3%）と最も多く、次いで「病院・診療所」41件（28.5%）、「企業」30件（20.8%）の順である。

回答事業所の所在地については、「和歌山県」113件（78.5%）と最も多かった。次いで、「大阪府」8件（5.6%）、「東京都」6件（4.2%）の順である。

大学院修了生の採用関心については次のとおりである。

・修士の学位取得者について

「とても関心がある」27件（18.8%）、「少し関心はある」49件（34.0%）

・博士の学位取得者について

「とても関心がある」19件（13.2%）、「少し関心はある」46件（31.9%）

修了生の採用意向については次のとおりである。

・生命医療学専攻博士課程（4年制）先進医学プログラム修了生（取得学位：博士（医学））

「採用したい」9件（6.3%）、「採用を検討する」40件（27.8%）

「採用したい」「採用を検討する」の前向きな回答を合計すると49件（34.0%）であった。

・生命医療学専攻博士課程（4年制）先進薬学プログラム修了生（取得学位：博士（薬学））

「採用したい」12件（8.3%）、「採用を検討する」48件（33.3%）

「採用したい」「採用を検討する」の前向きな回答を合計すると60件（41.6%）であった。

・生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命医科学プログラム修了生（取得学位：修士（医科学））

「採用したい」9件（6.3%）、「採用を検討する」37件（25.7%）

「採用したい」「採用を検討する」の前向きな回答を合計すると46件（32.0%）であった。

・生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命薬科学プログラム修了生（取得学位：修士（薬科学））

「採用したい」13件（9%）、「採用を検討する」51件（35.4%）

「採用したい」「採用を検討する」の前向きな回答を合計すると64件（44.4%）であった。

・生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命医科学プログラム修了生（取得学位：博士（医科学））

「採用したい」9件（6.3%）、「採用を検討する」36件（25.0%）

「採用したい」「採用を検討する」の前向きな回答を合計すると 45 件 (31.3%) であった。

- ・生命医療科学専攻博士後期課程 (3 年制) 生命薬科学プログラム修了生 (取得学位: 博士 (薬科学))

「採用したい」12 件 (8.3%)、「採用を検討する」49 件 (34.0%)

「採用したい」「採用を検討する」の前向きな回答を合計すると 61 件 (42.3%) であった。

従業員 (職員) が在職のまま大学院へ進学することについては次のとおりである。

- ・回答事業所の従業員 (職員) が在職のまま大学院へ進学することに関する考えについて

「どちらかと言えば奨励したい」33 件 (22.9%)、「大いに奨励したい」21 件 (14.6%)、「どちらとも言えない」60 件 (41.7%)、「どちらかと言えば奨励しない」「まったく奨励しない」は共に 15 件 (10.4%)

「どちらかと言えば奨励したい」「大いに奨励したい」の前向きな回答を合計すると 54 件 (37.5%) であった。

医学薬学総合研究科の入学者は、医師、薬剤師、メディカルスタッフ職といった社会人や企業勤務者を主に想定しているが、中には 4 年制理系学部等の卒業生 (未就労者) もありうる。前者の社会人はすでに勤務先を持っているが、後者の学生にとっては修了後の就職先は重大な関心事である。本調査結果から、後者の修了生に対し「採用したい」「採用を検討する」と回答した事業は多数あり、大学院新卒者に対する安定した人材需要があると考えられる。

また、従業員が在職のまま大学院へ進学することについても、約 4 割近くが前向きな回答であり、博士前期課程修了者を採用した後も、働きながら博士後期課程で学ぶことに理解を示す経営者が一定の割合で存在することが確認できた。

以上のことから、医学薬学総合研究科修了生に対する採用意向や需要は高いものであると考える。

学生確保の見通し 資料目次

- 【資料1】 和歌山県立医科大学アンケート集計結果（入学意向）
- 【資料2】 和歌山県立医科大学アンケート集計結果（採用意向）
- 【資料3】 2020年医学部・医学科学生アンケート調査
- 【資料4】 薬学系人材のあり方に関する検討会（薬学関連資料）

【資料1】

和歌山県立医科大学大学院における医学薬学総合研究科
（仮称）設置に関する入学意向調査アンケート

集 計 結 果

令和5年2月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

<アンケート調査概要>	1
<アンケート調査結果要旨>	3
<アンケート集計結果>	19
<アンケート調査票>	45

＜アンケート調査概要＞

1. アンケート調査の目的

和歌山県立医科大学では、大学院における教育研究の一層の発展を目的として、現行の医学研究科を医学・薬学を統合した医学薬学総合研究科に改組することを計画し、準備を進めている。そこで、医学薬学総合研究科への入学意向を把握するために、学生及び社会人を対象にアンケート調査を実施した。

2. 実施アンケート

「和歌山県立医科大学大学院における医学薬学総合研究科（仮称）設置に関するアンケート調査」

3. 調査対象

入学意向に関するアンケート 4 種類について、下記対象にアンケート調査を実施した。

【学部在学生対象】（合計 823 名）

- ①和歌山県立医科大学医学部在学生（626 名）
- ②和歌山県立医科大学薬学部在学生（197 名）

【宝塚医療大学和歌山保健医療学部生対象】（合計 365 名）

- ①宝塚医療大学和歌山保健医療学部在学生

【修士課程在学生対象】（合計 12 名）

- ①和歌山県立医科大学大学院医学研究科修士課程在学生

【社会人対象】（合計 4,057 名）

- ①和歌山県病院協会会員病院医療従事者（81 事業所、1,000 名）
- ②和歌山県内薬局従業員（465 事業所、1,395 名）
- ③全国製薬関係企業従業員（554 事業所、1,662 名）

4. 調査実施

令和4年8月～令和5年2月に調査を実施した。

5. 調査方法

郵送によるアンケート調査票の配布及び回収、集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。また、Microsoft Forms を利用し、郵送及びWEB 回答どちらかを選択できるようにした。

6. 回収状況

各アンケートの回収数は、下表のとおりである。

対象	郵送による回答	WEB による回答	合計
学部在学生	—	517	517
宝塚医療大学 和歌山保健医療学部生	1	304	305
修士課程在学生	—	5	5
社会人	332	215	547

＜アンケート調査結果要旨＞

＜医学薬学総合研究科入学意向概要（課程毎の入学希望者数）＞

学部在学学生、宝塚医療大学和歌山保健医療学部生（以下、宝塚医療大学生）、修士課程在学学生、社会人対象のアンケートによる和歌山県立医科大学医学薬学総合研究科への入学意向について、実数での回答は以下の通りである。（詳細な集計結果はP. 21 以降を参照）

【博士課程 4 年制入学意向】

博士課程 4 年制（入学定員 35 人）への入学希望者数は、学部在学学生対象アンケート問 4 と社会人対象アンケート問 7 を合計すると 163 人であった。

設問	選択肢	先進医学 プログラム	先進薬学 プログラム	合計
【学部在学学生対象】 問 4 博士課程 4 年制 への入学希望	1 学部卒業後すぐに入学したい	10	10	20
	2 就職後落ち着いてから入学したい	26	7	33
	3 入学を検討する	30	36	66
【社会人対象】 問 7 医学薬学総合研 究科への入学希望	1 入学したい	7	7	14
	2 入学を検討する	18	12	30
合計		91	72	163

【博士前期課程 2 年制入学意向】

博士前期課程 2 年制（入学定員 14 人）への入学希望者数は、宝塚医療大学生対象アンケート問 4 と社会人対象アンケート問 7 を合計すると 68 人であった。

設問	選択肢	生命医科学 プログラム	生命薬科学 プログラム	合計
【宝塚医療大学生対象】 問 4 博士前期課程 2 年 制への入学希望	1 学部卒業後すぐに入学したい	6	3	9
	2 就職後落ち着いてから入学したい	9	2	11
	3 入学を検討する	10	1	11
【社会人対象】 問 7 医学薬学総合研 究科への入学希望	1 入学したい	15	2	17
	2 入学を検討する	9	11	20
合計		49	19	68

【博士後期課程 3 年制入学意向】

博士前期課程 3 年制（入学定員 7 人）への入学希望者数は、宝塚医療大学生対象アンケート問 6、修士課程在学学生対象アンケート問 3、及び社会人対象アンケート問 7 並びに問 10 を合計すると 58 人であった。

設問	選択肢	生命医科学 プログラム	生命薬科学 プログラム	合計
【宝塚医療大学生対象】 問 6 博士前期課程 2 年制 を修了後、博士後期課程 3 年制への進学希望	1 進学を希望する	1	3	4
	2 できれば進学したい	18	3	21
【修士課程在学学生対象】 問 3 博士後期課程 3 年制 への入学希望	1 修士課程修了後すぐに入学したい	0	0	0
	2 修士課程修了後しばらくしてから入学したい	1	0	1
	3 入学を検討する	2	0	2
【社会人対象】 問 7 医学薬学総合研究科 への入学希望	1 入学したい	2	1	3
	2 入学を検討する	4	2	6
【社会人対象】 問 10 博士前期課程 2 年 制を修了後、博士後期課程 3 年制への入学希望	1 すぐに博士後期課程に入学したい	0	0	0
	2 数年後には博士後期課程に入学したい	3	1	4
	3 状況によっては博士後期課程の入学を考える	13	4	17
合計		44	14	58

<医学薬学総合研究科入学意向概要（学部在学学生）>

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科設置に関する学部在学学生対象アンケート調査の集計結果の概要については、以下の通りである。

【問1：在籍学部】

回答者（517人）の在籍学部について、「医学部」344人（66.5%）、「薬学部」173人（33.5%）であった。

【問2：学年】

回答者の学年について、「1年次生」188人（36.4%）が最も多く、次いで「2年次生」112人（21.7%）、「3年次生」68人（13.2%）と続いた。

【問3：学位取得関心】

回答者の博士の学位取得関心は、「少し関心はある」303人（58.6%）が最も多く、次いで「関心は無い」150人（29.0%）、「とても関心がある」64人（12.4%）と続いた。

【問4：入学希望】

回答者の入学希望についてみると、「学部卒業後すぐに入学したい」と回答したのは20人（3.9%）、「就職後落ち着いてから入学したい」と回答したのは33人（6.4%）、「入学を検討する」と回答したのは66人（12.8%）、「就職してから考える」と回答したのは64人（12.4%）であった。

【問5：入学希望プログラム】

回答者のうち、問4で「学部卒業後すぐに入学したい」、「就職後落ち着いてから入学したい」、「入学を検討する」、「就職してから考える」と回答した183人の入学希望プログラムは、「先進薬学プログラム（取得学位：博士（薬学）」111人（60.7%）、「先進医学プログラム（取得学位：博士（医学）」72人（39.3%）であった。

【問6：自由記述】

回答のあった517人のうち13人から自由記述の回答を得ることができた。

【クロス集計1（問2×問4）】

博士課程4年制への入学希望（問4）について、学年（問2）ごとの回答者とクロス集計を行うことで、医学薬学総合研究科の開設時（令和6年度）に入学が見込まれる回答者と、開設後の令和7年度以降に入学が見込まれる回答者を把握する。

問4で「1 学部卒業後すぐに入学したい」と回答した20人について、問2で「5 5年次生」と回答しているのは1人である。この1人については、令和6年度の入学者として考えられる。

同様に、問4で「1 学部卒業後すぐに入学したい」と回答した20人のうち問2で「1 1年次生」「2 2年次生」「3 3年次生」「4 4年次生」と回答した回答者は、合わせて19人となる。また、問4で「2 就職後落ち着いてから入学したい」と回答した回答者は33人であり、合わせて50人となる。この50人については、令和7年度以降に入学が見込まれると考えられることから、中長期的な入学者の確保に繋げることが期待できる。

問2回答者（517人）の学年ごとの博士課程4年制への入学希望（問4）

		問4 博士課程4年制への入学希望						合計
		1 学部卒業後すぐに入学したい	2 就職後落ち着いてから入学したい	3 入学を検討する	4 就職してから考える	5 入学しない	6 わからない	
問2 学年	1 1年次生	11	8	38	21	22	88	188
		5.9	4.3	20.2	11.2	11.7	46.8	100.0
	2 2年次生	5	4	14	17	15	57	112
		4.5	3.6	12.5	15.2	13.4	50.9	100.0
	3 3年次生	1	7	5	6	19	30	68
		1.5	10.3	7.4	8.8	27.9	44.1	100.0
	4 4年次生	2	7	3	4	14	20	50
		4.0	14.0	6.0	8.0	28.0	40.0	100.0
	5 5年次生	1	2	3	6	12	21	45
		2.2	4.4	6.7	13.3	26.7	46.7	100.0
	6 6年次生	-	5	3	10	13	23	54
		-	9.3	5.6	18.5	24.1	42.6	100.0
	合計	20	33	66	64	95	239	517
		3.9	6.4	12.8	12.4	18.4	46.2	100.0

上段：件数（人）、下段：割合（％）

<医学薬学総合研究科入学意向概要（宝塚医療大学和歌山保健医療学部生）>

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科設置に関する宝塚医療大学和歌山保健医療学部生対象アンケート調査の集計結果の概要については、以下の通りである。

【問1：在籍学科（専攻）】

回答者（305人）の在籍学科（専攻）について、「リハビリテーション学科（理学療法学専攻）」160人（52.5%）が最も多く、次いで「リハビリテーション学科（作業療法学科専攻）」93人（30.5%）、「看護学科」52人（17.0%）の内訳であった。

【問2：学年】

回答者の学年について、「1年次生」150人（49.2%）が最も多く、次いで「3年次生」85人（27.9%）、「2年次生」70人（23.0%）の内訳であった。

【問3：大学院進学関心】

回答者の大学院進学関心は、「少し関心はある」149人（48.9%）が最も多く、次いで、「関心は無い」132人（43.3%）、「とても関心がある」24人（7.9%）の内訳であった。

【問4：入学希望】

回答者の入学希望についてみると、「学部卒業後すぐに入学したい」と回答したのは9人（3.0%）、「就職後落ち着いてから入学したい」、「入学を検討する」と回答したのは共に11人（3.6%）、「就職してから考える」と回答したのは49人（16.1%）であった。

【問5：入学希望プログラム】

回答者のうち、問4で「学部卒業後すぐに入学したい」、「就職後落ち着いてから入学したい」、「入学を検討する」、「就職してから考える」と回答した80人の入学希望プログラムは、「生命医学プログラム（取得学位：博士（医学）」54人（67.5%）、「生命薬学プログラム（取得学位：博士（薬学）」26人（32.5%）であった。

【 問 6 : 博士後期課程進学希望 】

問 5 を回答した 80 人の博士後期課程への進学希望については、「進学を希望する」と回答したのは 4 人 (5.0%)、「できれば進学したい」と回答したのは 21 人 (26.3%) であった。

【 問 7 : 自由記述 】

回答のあった 305 人のうち 4 人から自由記述の回答を得ることができた。

【 クロス集計 1 (問 2 × 問 4) 】

博士前期課程 2 年制への入学希望 (問 4) について、学年 (問 2) ごとの回答者とクロス集計を行うことで、医学薬学総合研究科の開設時 (令和 6 年度) に入学が見込まれる回答者と、開設後の令和 7 年度以降に入学が見込まれる回答者を把握する。

問 4 で「1 学部卒業後すぐに入学したい」と回答した 9 人のうち、問 2 で「2 2 年次生」と回答しているのは 5 人である。この 5 人については、令和 6 年度の入学者として考えられる。同様に、問 4 で「1 学部卒業後すぐに入学したい」と回答した 9 人のうち、問 2 で「1 1 年次生」と回答しているのは 1 人である。また、問 4 で「2 就職後落ち着いてから入学したい」と回答しているのは 11 人であり、合わせて 12 人となる。この 12 人については、令和 6 年度の入学希望者ではないものの、令和 7 年度以降に入学が見込まれると考えられることから、中長期的な入学者の確保に繋げることが期待できる。

問 2 回答者 (305 人) の学年ごとの博士前期課程 2 年制への入学希望 (問 4)

		問 4 博士前期課程 2 年制への入学希望						合計
		1 学部卒業後すぐに入学したい	2 就職後落ち着いてから入学したい	3 入学を検討する	4 就職してから考える	5 入学しない	6 わからない	
問 2 学年	1 1 年次生	1	7	10	16	39	77	150
		0.7	4.7	6.7	10.7	26.0	51.3	100.0
	2 2 年次生	5	1	0	10	26	28	70
		7.1	1.4	0.0	14.3	37.1	40.0	100.0
	3 3 年次生	3	3	1	23	21	34	85
		3.5	3.5	1.2	27.1	24.7	40.0	100.0
	合計	9	11	11	49	86	139	305
		3.0	3.6	3.6	16.1	28.2	45.6	100.0

上段 : 件数 (人)、下段 : 割合 (%)

<医学薬学総合研究科入学意向概要（修士課程在學生）>

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科設置に関する修士課程在學生対象アンケート調査の集計結果の概要については、以下の通りである。

【問1：学年】

回答者（5人）の学年について、「修士2年次生」4人（80.0%）が最も多く、次いで「修士1年次生」1人（20.0%）であった。

【問2：学位取得関心】

回答者の学位取得関心は、「とても関心がある」3人（60.0%）が最も多く、次いで「少し関心はある」2人（40.0%）であった。

【問3：入学希望】

回答者の入学希望についてみると、「修士課程修了後しばらくしてから入学したい」と回答したのは1人（20.0%）、「入学を検討する」と回答したのは2人（40.0%）であった。

【問4：入学希望プログラム】

回答者のうち、問3で「修士課程修了後しばらくしてから入学したい」、「入学を検討する」と回答した3人の入学希望プログラムは、「生命医科学プログラム（取得学位：博士（医科学）」3人（100%）であった。

【問5：自由記述】

回答のあった5人のうち1人から自由記述の回答を得ることができた。

<医学薬学総合研究科入学意向概要（社会人）>

和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科設置に関する社会人対象アンケート調査の集計結果の概要については、以下の通りである。

【問1：居住地】

回答者（547人）の居住地は、研究科設置予定の「和歌山県」501人（91.6%）が最も多く、次いで、「大阪府」20人（3.7%）、「埼玉県」6人（1.1%）の順であった。

【問2：勤務先】

回答者の勤務先は、「病院・診療所」349人（63.8%）が最も多く、次いで、「薬局」158人（28.9%）、「企業」33人（6.0%）、「その他」7人（1.3%）の内訳であった。「その他」の詳細については、P.36参照。

【問3：保有資格】

回答者の保有資格は、「薬剤師」261人（47.7%）が最も多く、次いで、「医師」99人（18.1%）、「理学療法士」45人（8.2%）の順であった。

【問4：保有学位】

回答者の保有学位は、「学士」299人（52.4%）が最も多く、次いで、「高度専門士・専門士・専門学校卒」76人（13.3%）、「修士」61人（10.7%）の順であった。

【問5：勤務年数】

回答者の勤続年数は、「20年以上」146人（26.7%）が最も多く、次いで、「10年～20年未満」141人（25.8%）、「1年～3年未満」80人（14.6%）の順であった。

【問6：学位取得関心】

①修士の学位取得について

「関心は無い」278人（50.8%）が最も多く、次いで、「少し関心はある」185人（33.8%）、「とても関心がある」50人（9.1%）の内訳であった。

②博士の学位取得について

「関心は無い」299人(54.7%)が最も多く、次いで、「少し関心はある」189人(34.6%)、「とても関心がある」57人(10.4%)の内訳であった。

【問7：入学希望】

回答者の入学希望についてみると、「入学したい」と回答したのは34人(6.2%)、「入学を検討する」と回答したのは56人(10.2%)であった。

【問8：入学する場合の仕事との関係】

問7で「入学したい」、「入学を検討する」と回答した90人が考える入学する場合の仕事との関係は、「仕事を続けながら入学したい」80人(88.9%)が最も多く、「わからない」4人(4.4%)、「休職して入学したい」3人(3.3%)であった。

【問9：入学希望プログラム】

問7で「入学したい」、「入学を検討する」と回答した90人の入学希望プログラムは、「生命医療学専攻博士課程(4年制)先進医学プログラム(取得学位：博士(医学))」25人(27.8%)が最も多く、次いで、「生命医療科学専攻博士前期課程(2年制)生命医科学プログラム(取得学位：修士(医科学))」24人(26.7%)、「生命医療学専攻博士課程(4年制)先進薬学プログラム(取得学位：博士(薬学))」19人(21.1%)の順に続いた。

【問10：博士前期課程修了後の後期課程入学希望】

問9で「生命医療科学専攻博士前期課程(2年制)生命医科学プログラム(取得学位：修士(医科学))」、「生命医療科学専攻博士前期課程(2年制)生命薬科学プログラム(取得学位：修士(薬科学))」と回答した37人の博士前期課程修了後の後期課程入学希望についてみると、「数年後には博士後期課程に入学したい」と回答したのは4人(10.8%)、「状況によっては博士後期課程の入学を考える」と回答したのは17人(45.9%)であった。

【問11：自由記述】

回答のあった515人のうち34人から自由記述の回答を得ることができた。

【クロス集計1（問7×問9）】

問7で医学薬学総合研究科への入学について「1 入学したい」と回答した34人について、問9の入学を希望する課程・プログラムで「1 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進医学プログラム」と回答したのは7人、「2 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進薬学プログラム」と回答したのは7人であり、合わせて14人が4年制の生命医療学専攻博士課程への入学を希望している。また、「3 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命医科学プログラム」と回答したのは15人、「4 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命薬科学プログラム」と回答したのは2人であり、合わせて17人が2年制の生命医療科学専攻博士前期課程への入学を希望している。さらに、「5 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命医科学プログラム」と回答したのは2人、「6 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命薬科学プログラム」と回答したのは1人であり、合わせて3人が3年制の生命医療科学専攻博士後期課程への入学を希望している。

問7で「1 入学したい」もしくは「2 入学を検討する」と回答した回答者（90人）の入学希望プログラム（問9）

		問9 入学を希望する課程・プログラム						合計
		1 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進医学プログラム	2 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進薬学プログラム	3 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命医科学プログラム	4 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命薬科学プログラム	5 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命医科学プログラム	6 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命薬科学プログラム	
問7 医学薬学総合研究科への入学意向	1 入学したい	7	7	15	2	2	1	34
		20.6	20.6	44.1	5.9	5.9	2.9	100.0
	2 入学を検討する	18	12	9	11	4	2	56
		32.1	21.4	16.1	19.6	7.1	3.6	100.0
	合計	25	19	24	13	6	3	90
		27.8	21.1	26.7	14.4	6.7	3.3	100.0

上段：件数（人）、下段：割合（%）

【 クロス集計 2（問 6 × 問 7 × 問 9） 】

修士もしくは博士の学位取得（問 6 ①、②）について「とても関心がある」と回答し、医学薬学総合研究科への入学意向（問 7）として「入学を検討する」と回答した回答者については、アンケート回答時点において入学の希望までは有していないが、「入学を検討する」と回答した回答者の中でも特に修士もしくは博士の学位取得に高い関心を持っていることから、「入学したい」と回答した回答者に次いで、医学薬学総合研究科へ入学する可能性は高いグループと考えられる。

問 6 ①で修士の学位取得に「1 とても関心がある」と回答した 50 人について、問 7 の医学薬学総合研究科への入学について「2 入学を検討する」と回答したのは 15 人である。この 15 人について、問 9 の入学を希望する課程・プログラムで修士の学位を取得できる「3 生命医療科学専攻博士前期課程（2 年制）生命医科学プログラム」と回答したのは 4 人、「4 生命医療科学専攻博士前期課程（2 年制）生命薬科学プログラム」と回答したのは 3 人であり、合わせて 7 人である。これら 7 人については、アンケート回答時点では「入学したい」という強い意志を確認できないが、修士の学位取得に高い関心を持っていることから、入学への関心も高いと考えられる。

同様に、問 6 ②で博士の学位取得に「1 とても関心がある」と回答した 57 人について、問 7 の医学薬学総合研究科への入学について「2 入学を検討する」と回答したのは 18 人である。この 18 人について、問 9 の入学を希望する課程・プログラムで博士の学位を取得できる「1 生命医療学専攻博士課程（4 年制）先進医学プログラム」と回答したのは 10 人、「2 生命医療学専攻博士課程（4 年制）先進薬学プログラム」と回答したのは 1 人であり、合わせて 11 人が 4 年制の生命医科学専攻博士後期課程への入学を希望している。また、「5 生命医療科学専攻博士後期課程（3 年制）生命医科学プログラム」と回答したのは 2 人、「6 生命医療科学専攻博士後期課程（3 年制）生命薬科学プログラム」と回答したのは 1 人であり、合わせて 3 人が 3 年生の生命医療科学専攻博士後期課程への入学を希望している。いずれも、アンケート回答時点では「入学したい」という強い意志を確認できないが、博士の学位取得に高い関心を持っていることから、入学への関心も高いと考えられる。

医学薬学総合研究科への入学に強い意志までは持っていないものの、高い関心を持っていると考えられる回答者については、医学薬学総合研究科の教育研究に関する情報提供等によりさらに関心を高めるなど、入学者の確保に繋げることが期待される。

問6①で修士の学位取得に「1 とても関心がある」と回答した回答者（50人）の医学薬学総合研究科への入学意向（問7）

	問7 医学薬学総合研究科への入学意向					合計
	1 入学したい	2 入学を検討する	3 入学しない	4 わからない	不明	
問6①修士の学位取得	17	15	9	9	0	50
「1 とても関心がある」	34.0	30.0	18.0	18.0	0.0	100.0

上段：件数（人）、下段：割合（%）

問6①で修士の学位取得に「1 とても関心がある」と回答し、かつ問7で医学薬学総合研究科への入学意向として「2 入学を検討する」と回答した回答者（15人）の入学希望課程・プログラム（問9）

	問9 入学を希望する課程・プログラム						合計
	1 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進医学プログラム	2 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進薬学プログラム	3 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命医科学プログラム	4 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命薬科学プログラム	5 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命医科学プログラム	6 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命薬科学プログラム	
問6①修士の学位取得「1 とても関心がある」かつ問7医学薬学総合研究科「2 入学を検討する」	8	0	4	3	0	0	15
	53.3	0.0	26.7	20.0	0.0	0.0	100.0

上段：件数（人）、下段：割合（%）

問6②で博士の学位取得に「1 とても関心がある」と回答した回答者（57人）の医学薬学総合研究科への入学意向（問7）

	問7 医学薬学総合研究科への入学意向					合計
	1 入学したい	2 入学を検討する	3 入学しない	4 わからない	不明	
問6②博士の学位取得	18	18	13	8	18	57
「1 とても関心がある」	31.6	31.6	22.8	14.0	31.6	100.0

上段：件数（人）、下段：割合（%）

問6②で博士の学位取得に「1 とても関心がある」と回答し、かつ問7で医学薬学総合研究科への入学意向として「2 入学を検討する」と回答した回答者（18人）の入学希望課程・プログラム（問9）

	問9 入学を希望する課程・プログラム						合計
	1 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進医学プログラム	2 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進薬学プログラム	3 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命医科学プログラム	4 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命薬科学プログラム	5 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命医科学プログラム	6 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命薬科学プログラム	
問6②博士の学位取得「1 とても関心がある」かつ問7医学薬学総合研究科「2 入学を検討する」	10	1	2	2	2	1	18
	55.6	5.6	11.1	11.1	11.1	5.6	100.0

上段：件数（人）、下段：割合（%）

【 クロス集計 3（問 6 × 問 10） 】

問 10 で「3 状況によっては博士後期課程の入学を考える」と回答した回答者 17 人について、問 6 ②の博士の学位取得への関心として「1 とても関心がある」と回答しているのは 4 人である。この 4 人については、博士の学位取得への関心は高いものの、その時の状況により博士後期課程への入学を判断するという回答者である。状況が許せば博士後期課程に入学することが期待されると考えられることから、入学への条件等について相談に応じることにより入学者の確保に繋げることが望まれる。

問 10 で「3 状況によっては博士後期課程の入学を考える」と回答した回答者（17 人）の問 6 ②博士の学位取得への関心

	問 6 ②博士の学位取得への関心				合計
	1 とても関心がある	2 少し関心はある	3 関心は無い	不明	
問 10 博士前期課程修了後の博士後期課程への入学「3 状況によっては博士後期課程の入学を考える」	4	13	0	0	17
	23.5	76.5	0.0	0.0	100.0

上段：件数（人）、下段：割合（%）

＜アンケート集計結果＞

和歌山県立医科大学大学院における医学薬学総合研究科（仮称）設置に関する

アンケート調査集計表（学部在学学生対象）

〔有効回答票：517票〕

問1 あなたが在籍する学部をお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 医学部	344	66.5
2 薬学部	173	33.5
合計	517	100.0

問2 あなたの現在の学年についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 1年次生	188	36.4
2 2年次生	112	21.7
3 3年次生	68	13.2
4 4年次生	50	9.7
5 5年次生	45	8.7
6 6年次生	54	10.4
合計	517	100.0

問3 あなたは博士の学位取得に関心をお持ちですか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 とても関心がある	64	12.4
2 少し関心はある	303	58.6
3 関心は無い	150	29.0
合計	517	100.0

問4 和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科では、入学から修了まで仕事を続けながら学ぶことが可能です。あなたは「和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科 生命医療学専攻博士課程4年制（取得学位：博士（医学）又は博士（薬学）」への入学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 学部卒業後すぐに入学したい	20	3.9
2 就職後落ち着いてから入学したい	33	6.4
3 入学を検討する	66	12.8
4 就職してから考える	64	12.4
5 入学しない	95	18.4
6 わからない	239	46.2
合計	517	100.0

（問5以降は、問4で「1 学部卒業後すぐに入学したい」、「2 就職後落ち着いてから入学したい」、「3 入学を検討する」、「4 就職してから考える」と回答した183人に対する設問）

問5 問4で「1」、「2」、「3」、「4」のいずれかを回答された方にお尋ねします。

あなたが医学薬学総合研究科生命医療学専攻博士課程4年制に入学するとした場合、入学を希望するプログラムはどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 先進医学プログラム（取得学位：博士（医学））	111	60.7
2 先進薬学プログラム（取得学位：博士（薬学））	72	39.3
合計	183	100.0

問6 和歌山県立医科大学大学院の医学薬学総合研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。（省略）

【参考】クロス集計

問2. 学年 × 問4. 入学希望（博士課程4年制） × 問5. 入学希望プログラム

		上段:件数 下段:%	問5. 入学希望プログラム		
			1 先進医学プログラム	2 先進薬学プログラム	合計
問2. 学年 × 問4. 入学希望 (博士課程 4年制)	合計		111 60.7	72 39.3	183 100.0
	1 1年次生	1 学部卒業後すぐに入学したい	5 45.5	6 54.5	11 100.0
		2 就職後落ち着いてから入学したい	3 37.5	5 62.5	8 100.0
		3 入学を検討する	11 28.9	27 71.1	38 100.0
		4 就職してから考える	12 57.1	9 42.9	21 100.0
		小計	31 39.7	47 60.3	78 100.0
	2 2年次生	1 学部卒業後すぐに入学したい	1 20.0	4 80.0	5 100.0
		2 就職後落ち着いてから入学したい	2 50.0	2 50.0	4 100.0
		3 入学を検討する	7 50.0	7 50.0	14 100.0
		4 就職してから考える	7 41.2	10 58.8	17 100.0
		小計	17 42.5	23 57.5	40 100.0
	3 3年次生	1 学部卒業後すぐに入学したい	1 100.0	0 0.0	1 100.0
		2 就職後落ち着いてから入学したい	7 100.0	0 0.0	7 100.0
		3 入学を検討する	5 100.0	0 0.0	5 100.0
		4 就職してから考える	6 100.0	0 0.0	6 100.0
		小計	19 100.0	0 0.0	19 100.0
	4 4年次生	1 学部卒業後すぐに入学したい	2 100.0	0 0.0	2 100.0
		2 就職後落ち着いてから入学したい	7 100.0	0 0.0	7 100.0
		3 入学を検討する	1 33.3	2 66.7	3 100.0
		4 就職してから考える	4 100.0	0 0.0	4 100.0
小計		14 87.5	2 12.5	16 100.0	

		上段:件数 下段:%	問5.入学希望プログラム		
			1 先進医学プログラム	2 先進薬学プログラム	合計
問2. 学年 × 問4. 入学希望 (博士課程 4年 制)	5 5年次生	1 学部卒業後すぐに入学したい	1 100.0	0 0.0	1 100.0
		2 就職後落ち着いてから入学したい	2 100.0	0 0.0	2 100.0
		3 入学を検討する	3 100.0	0 0.0	3 100.0
		4 就職してから考える	6 100.0	0 0.0	6 100.0
		小計	12 100.0	0 0.0	12 100.0
	6 6年次生	1 学部卒業後すぐに入学したい	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		2 就職後落ち着いてから入学したい	5 100.0	0 0.0	5 100.0
		3 入学を検討する	3 100.0	0 0.0	3 100.0
		4 就職してから考える	10 100.0	0 0.0	10 100.0
		小計	18 100.0	0 0.0	18 100.0

問3. 学位取得関心 × 問4. 入学希望（博士課程4年制） × 問5. 入学希望プログラム

		上段:件数 下段:%	問5. 入学希望プログラム		
			1 先進医学プログラム	2 先進薬学プログラム	合計
問3. 学位取得関心 × 問4. 入学希望（博士課程 4年 制）	合計		111 60.7	72 39.3	183 100.0
	1 とても関 心がある	1 学部卒業後すぐに入学したい	7 50.0	7 50.0	14 100.0
		2 就職後落ち着いてから入学したい	7 77.8	2 22.2	9 100.0
		3 入学を検討する	10 47.6	11 52.4	21 100.0
		4 就職してから考える	6 100.0	0 0.0	6 100.0
		小計	30 60.0	20 40.0	50 100.0
		2 少し関 心はある	1 学部卒業後すぐに入学したい	3 50.0	3 50.0
	2 就職後落ち着いてから入学したい		19 79.2	5 20.8	24 100.0
	3 入学を検討する		20 44.4	25 55.6	45 100.0
	4 就職してから考える		33 66.0	17 34.0	50 100.0
	小計		75 60.0	50 40.0	125 100.0
	3 関心は無 い	1 学部卒業後すぐに入学したい	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		2 就職後落ち着いてから入学したい	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		3 入学を検討する	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		4 就職してから考える	6 75.0	2 25.0	8 100.0
		小計	6 75.0	2 25.0	8 100.0

和歌山県立医科大学大学院における医学薬学総合研究科（仮称）設置に関する
アンケート調査集計表（宝塚医療大学和歌山保健医療学部生対象）

〔有効回答票：305票〕

問1 あなたが在籍する学科（専攻）をお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 リハビリテーション学科（理学療法学専攻）	160	52.5
2 リハビリテーション学科（作業療法学専攻）	93	30.5
3 看護学科	52	17.0
合計	305	100.0

問2 あなたの現在の学年についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 1年次生	150	49.2
2 2年次生	70	23.0
3 3年次生	85	27.9
合計	305	100.0

問3 あなたは大学院進学に関心をお持ちですか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 とても関心がある	24	7.9
2 少し関心はある	149	48.9
3 関心は無い	132	43.3
合計	305	100.0

問4 和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科では、入学から修了まで仕事を続けながら学ぶことが可能です。あなたは「和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科 生命医療科学専攻博士前期課程2年制（取得学位：修士（医科学）又は修士（薬科学）」への入学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 学部卒業後すぐに入学したい	9	3.0
2 就職後落ち着いてから入学したい	11	3.6
3 入学を検討する	11	3.6
4 就職してから考える	49	16.1
5 入学しない	86	28.2
6 わからない	139	45.6
合計	305	100.0

（問5以降は、問4で「1 学部卒業後すぐに入学したい」、「2 就職後落ち着いてから入学したい」、「3 入学を検討する」、「4 就職してから考える」と回答した80人に対する設問）

問5 問4で「1」、「2」、「3」、「4」のいずれかを回答された方にお尋ねします。あなたが医学薬学総合研究科生命医療科学専攻博士前期課程2年制に入学するとした場合、入学を希望するプログラムはどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 生命医科学プログラム（取得学位：博士（医学））	54	67.5
2 生命薬科学プログラム（取得学位：博士（薬学））	26	32.5
合計	80	100.0

問6 問4で「1」、「2」、「3」、「4」のいずれかを回答された方にお尋ねします。あなたが医学薬学総合研究科生命医療科学専攻博士前期課程2年制に入学とした場合、博士前期課程2年制修了後に博士後期課程3年制への進学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 進学を希望する	4	5.0
2 できれば進学したい	21	26.3
3 進学を希望しない	6	7.5
4 わからない	49	61.3
合計	80	100.0

問7 和歌山県立医科大学大学院の医学薬学総合研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。(省略)

【参考】クロス集計

問2. 学年 × 問4. 入学希望(博士前期課程2年制) × 問5. 入学希望プログラム

		上段:件数 下段:%	問5. 入学希望プログラム		
			1 生命医科学 プログラム	2 生命薬科学 プログラム	合計
問2. 学年 × 問4. 入学希 望(博 士前期 課程2 年制)	合計		54 67.5	26 32.5	80 100.0
	1 1年次生	1 学部卒業後すぐに入学したい	1 100.0	0 0.0	1 100.0
		2 就職後落ち着いてから入学したい	5 71.4	2 28.6	7 100.0
		3 入学を検討する	9 90.0	1 10.0	10 100.0
		4 就職してから考える	6 37.5	10 62.5	16 100.0
		小計	21 61.8	13 38.2	34 100.0
		2 2年次生	1 学部卒業後すぐに入学したい	4 80.0	1 20.0
		2 就職後落ち着いてから入学したい	1 100.0	0 0.0	1 100.0
		3 入学を検討する	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		4 就職してから考える	7 70.0	3 30.0	10 100.0
		小計	12 75.0	4 25.0	16 100.0
	3 3年次生	1 学部卒業後すぐに入学したい	1 33.3	2 66.7	3 100.0
		2 就職後落ち着いてから入学したい	3 100.0	0 0.0	3 100.0
		3 入学を検討する	1 100.0	0 0.0	1 100.0
		4 就職してから考える	16 69.6	7 30.4	23 100.0
		小計	21 70.0	9 30.0	30 100.0

問 3. 大学院進学関心 × 問 4. 入学希望(博士前期課程 2 年制) × 問 5. 入学希望プログラム

		上段:件数 下段:%	問 5. 入学希望プログラム		
			1 生命医科学 プログラム	2 生命薬科学 プログラム	合計
問 3. 大学院 進学関 心 × 問 4. 入学希 望(博 士前期 課程 2 年制)	合計		54 67.5	26 32.5	80 100.0
	1 とても関 心がある	1 学部卒業後すぐに入学したい	6 75.0	2 25.0	8 100.0
		2 就職後落ち着いてから入学したい	3 75.0	1 25.0	4 100.0
		3 入学を検討する	6 100.0	0 0.0	6 100.0
		4 就職してから考える	0 0.0	1 100.0	1 100.0
		小計	15 78.9	4 21.1	19 100.0
		2 少し関心 はある	1 学部卒業後すぐに入学したい	0 0.0	1 100.0
	2 就職後落ち着いてから入学したい		6 85.7	1 14.3	7 100.0
	3 入学を検討する		4 80.0	1 20.0	5 100.0
	4 就職してから考える		25 58.1	18 41.9	43 100.0
	小計		35 62.5	21 37.5	56 100.0
	3 関心は無 い	1 学部卒業後すぐに入学したい	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		2 就職後落ち着いてから入学したい	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		3 入学を検討する	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		4 就職してから考える	4 80.0	1 20.0	5 100.0
		小計	4 80.0	1 20.0	5 100.0

和歌山県立医科大学大学院における医学薬学総合研究科（仮称）設置に関する
アンケート調査集計表（修士課程在学学生対象）

〔有効回答票：5票〕

問1 あなたの現在の学年についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 修士1年次生	1	20.0
2 修士2年次生	4	80.0
合計	5	100.0

問2 あなたは博士の学位取得に関心をお持ちですか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 とても関心がある	3	60.0
2 少し関心はある	2	40.0
3 関心は無い	0	0.0
合計	5	100.0

問3 あなたは「和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科 生命医療科学専攻博士後期課程3年制（取得学位：博士（医科学）又は博士（薬科学）」への入学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 修士課程修了後すぐに入学したい	0	0.0
2 修士課程修了後しばらくしてから入学したい	1	20.0
3 入学を検討する	2	40.0
4 入学しない	2	40.0
5 わからない	0	0.0
合計	5	100.0

(問4以降は、問3で「1 修士課程修了後すぐに入学したい」、「2 修士課程修了後しばらくしてから入学したい」、「3 入学を検討する」と回答した3人に対する設問)

問4 問3で「1」、「2」、「3」のいずれかを回答された方にお尋ねします。あなたが医学薬学総合研究科生命医療科学専攻博士後期課程3年制に入学するとした場合、入学を希望するプログラムはどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 生命医科学プログラム (取得学位: 博士 (医科学))	3	100.0
2 生命薬科学プログラム (取得学位: 博士 (薬科学))	0	0.0
合計	3	100.0

問5 和歌山県立医科大学大学院の医学薬学総合研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。(省略)

【参考】クロス集計

問 2. 学位取得関心 × 問 3. 入学希望(博士後期課程 3 年制) × 問 4. 入学希望プログラム

		上段:件数 下段:%	問 4. 入学希望プログラム		
			1 生命医科学 プログラム	2 生命薬科学 プログラム	合計
問 2. 学位取得関心 × 問 3. 入学希望(博士後期 課程 3 年制)	合計		3 100.0	0 0.0	3 100.0
	1 とても関 心がある	1 修士課程修了後すぐに入学したい	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		2 修士課程修了後しばらくしてから 入学したい	1 100.0	0 0.0	1 100.0
		3 入学を検討する	1 100.0	0 0.0	1 100.0
		小計	2 100.0	0 0.0	2 100.0
	2 少し関 心はある	1 修士課程修了後すぐに入学したい	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		2 修士課程修了後しばらくしてから 入学したい	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		3 入学を検討する	1 100.0	0 0.0	1 100.0
		小計	1 100.0	0 0.0	1 100.0
	3 関心は無 い	1 修士課程修了後すぐに入学したい	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		2 修士課程修了後しばらくしてから 入学したい	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		3 入学を検討する	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		小計	0 0.0	0 0.0	0 0.0

和歌山県立医科大学大学院における医学薬学総合研究科（仮称）設置に関する
アンケート調査集計表（社会人対象）

〔有効回答票：547票〕

問1 あなたがお住まいの地域についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%		件数	%
1 北海道	0	0.0	25 滋賀県	0	0.0
2 青森県	0	0.0	26 京都府	0	0.0
3 岩手県	0	0.0	27 大阪府	20	3.7
4 宮城県	0	0.0	28 兵庫県	1	0.2
5 秋田県	0	0.0	29 奈良県	2	0.4
6 山形県	1	0.2	30 和歌山県	501	91.6
7 福島県	0	0.0	31 鳥取県	0	0.0
8 茨城県	0	0.0	32 島根県	0	0.0
9 栃木県	0	0.0	33 岡山県	0	0.0
10 群馬県	0	0.0	34 広島県	0	0.0
11 埼玉県	6	1.1	35 山口県	0	0.0
12 千葉県	0	0.0	36 徳島県	0	0.0
13 東京都	4	0.7	37 香川県	2	0.4
14 神奈川県	1	0.2	38 愛媛県	1	0.2
15 新潟県	0	0.0	39 高知県	2	0.4
16 富山県	0	0.0	40 福岡県	1	0.2
17 石川県	0	0.0	41 佐賀県	0	0.0
18 福井県	0	0.0	42 長崎県	0	0.0
19 山梨県	0	0.0	43 熊本県	0	0.0
20 長野県	0	0.0	44 大分県	0	0.0
21 岐阜県	0	0.0	45 宮崎県	0	0.0
22 静岡県	0	0.0	46 鹿児島県	2	0.4
23 愛知県	2	0.4	47 沖縄県	0	0.0
24 三重県	1	0.2	合計	547	100.0

問2 あなたの勤務先についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 病院・診療所	349	63.8
2 薬局	158	28.9
3 企業	33	6.0
4 その他	7	1.3
合計	547	100.0

(「4 その他」の回答)

回答	件数
大学	2
製薬会社	1

問3 あなたはどのような資格をお持ちですか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 医師	99	18.1
2 薬剤師	261	47.7
3 理学療法士	45	8.2
4 作業療法士	9	1.6
5 臨床検査技師	29	5.3
6 診療放射線技師	25	4.6
7 臨床工学技士	22	4.0
8 資格なし	29	5.3
9 その他	28	5.1
合計	547	100.0

(「9 その他」の回答)

回答	件数
管理栄養士	5
言語聴覚士	3
登録販売者	3
歯科医師	3
医療事務	1
医療事務、調剤事務資格	1
衛生管理者	1
介護支援専門員	1
看護師	1
総務部人事	1

問4 あなたがお持ちの学位等についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを全て選んでください。(複数回答)

	件数	%
1 博士	14	2.5
2 修士	61	10.7
3 専門職学位	45	7.9
4 学士	299	52.4
5 短期大学士・準学士	15	2.6
6 高度専門士・専門士・専門学校卒	76	13.3
7 その他	21	3.7
不明	40	7.0
合計	571	100.0

※複数回答のため、合計=547にならない。

(「7 その他」の回答)

回答	件数
医師免許	2
初期研修医	1
なし	13

問5 あなたは現在の職業に就いてどれほどの年数になりますか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 1年未満	52	9.5
2 1年～3年未満	80	14.6
3 3年～5年未満	54	9.9
4 5年～10年未満	73	13.3
5 10年～20年未満	141	25.8
6 20年以上	146	26.7
不明	1	0.2
合計	547	100.0

問6 あなたは学位の取得について関心をお持ちですか。①修士の学位取得について、②博士の学位取得について、それぞれ下の選択肢から1つだけ選んでください。

①修士の学位取得について

	件数	%
1 とても関心がある	50	9.1
2 少し関心はある	185	33.8
3 関心は無い	278	50.8
不明	34	6.2
合計	547	100.0

②博士の学位取得について

	件数	%
1 とても関心がある	57	10.4
2 少し関心はある	189	34.6
3 関心は無い	299	54.7
不明	2	0.4
合計	547	100.0

問7 あなたは「和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科」への入学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 入学したい	34	6.2
2 入学を検討する	56	10.2
3 入学しない	324	59.2
4 わからない	130	23.8
不明	3	0.5
合計	547	100.0

(問8以降は、問7で「1 入学したい」、「2 入学を検討する」と回答した90人に対する設問)

問8 問7で「1」又は「2」を回答された方にお尋ねします。あなたが「和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科」へ入学するとした場合、仕事との関係についてはどのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 仕事を続けながら入学したい	80	88.9
2 休職して入学したい	3	3.3
3 退職して入学したい	2	2.2
4 わからない	4	4.4
5 その他	1	1.1
合計	90	100.0

(「5 その他」の回答)

回答	件数
既に入學している	1

問9 問7で「1」又は「2」を回答された方にお尋ねします。あなたが入学を希望する課程・プログラムはどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進医学プログラム （取得学位：博士（医学））	25	27.8
2 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進薬学プログラム （取得学位：博士（薬学））	19	21.1
3 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命医科学プログラム （取得学位：修士（医科学））	24	26.7
4 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命薬科学プログラム （取得学位：修士（薬科学））	13	14.4
5 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命医科学プログラム （取得学位：博士（医科学））	6	6.7
6 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命薬科学プログラム （取得学位：博士（薬科学））	3	3.3
合計	90	100.0

(問 10 以降は、問 9 で「3 生命医療科学専攻博士前期課程 (2 年制) 生命医科学プログラム (取得学位: 修士 (医科学))」、「4 生命医療科学専攻博士前期課程 (2 年制) 生命薬科学プログラム (取得学位: 修士 (薬科学))」と回答した 37 人に対する設問)

問 10 問 9 で「3」又は「4」を回答された方にお尋ねします。あなたが博士前期課程 (2 年制) を修了後、博士後期課程 (3 年制) への入学を希望しますか。次の中から 1 つだけ選んでください。

	件数	%
1 すぐに博士後期課程に入学したい	0	0.0
2 数年後には博士後期課程に入学したい	4	10.8
3 状況によっては博士後期課程の入学を考える	17	45.9
4 博士後期課程の入学は考えない	5	13.5
5 わからない	11	29.7
6 その他	0	0.0
合計	37	100.0

問 11 和歌山県立医科大学大学院の医学薬学総合研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。(省略)

【参考】クロス集計

問 6-1. 学位取得関心（修士）×問 7. 入学希望 × 問 9. 入学希望課程・プログラム

上段:件数 下段:%		問 9 入学希望課程・プログラム						合計	
		1 生命医療学 専攻博士 課程（4 年制）先 進医学プ ログラム	2 生命医療学 専攻博士 課程（4 年制）先 進薬学プ ログラム	3 生命医療科 学専攻博 士前期課 程（2年 制）生命 医科学プ ログラム	4 生命医療科 学専攻博 士前期課 程（2年 制）生命 薬科学プ ログラム	5 生命医療科 学専攻博 士後期課 程（3年 制）生命 医科学プ ログラム	6 生命医療科 学専攻博 士後期課 程（3年 制）生命 薬科学プ ログラム		
問 6-1. 学位取得 関心（修 士） × 問 7. 入学希望	合計	25 27.8	19 21.1	24 26.7	13 14.4	6 6.7	3 3.3	90 100.0	
	1 とても関心 がある	1 入学したい	4 23.5	5 29.4	6 35.3	1 5.9	1 5.9	0 0.0	17 100.0
		2 入学を検討する	8 53.3	0 0.0	4 26.7	3 20.0	0 0.0	0 0.0	15 100.0
		小計	12 37.5	5 15.6	10 31.3	4 12.5	1 3.1	0 0.0	32 100.0
	2 少し関心は ある	1 入学したい	3 27.3	1 9.1	6 54.5	0 0.0	1 9.1	0 0.0	11 100.0
		2 入学を検討する	6 21.4	7 25.0	5 17.9	8 28.6	2 7.1	0 0.0	28 100.0
		小計	9 23.1	8 20.5	11 28.2	8 20.5	3 7.7	0 0.0	39 100.0
	3 関心は無い	1 入学したい	0 0.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	5 100.0
		2 入学を検討する	4 33.3	5 41.7	0 0.0	0 0.0	1 8.3	2 16.7	12 100.0
		小計	4 23.5	6 35.3	2 11.8	1 5.9	1 5.9	3 17.6	17 100.0
	不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	2 100.0	

問 6-2. 学位取得関心（博士）×問 7. 入学希望 × 問 9. 入学希望課程・プログラム

上段:件数 下段:%		問 9 入学希望課程・プログラム						合計	
		1 生命医療学 専攻博士 課程（4 年制）先 進医学プ ログラム	2 生命医療学 専攻博士 課程（4 年制）先 進薬学プ ログラム	3 生命医療科 学専攻博 士前期課 程（2年 制）生命 医科学プ ログラム	4 生命医療科 学専攻博 士前期課 程（2年 制）生命 薬科学プ ログラム	5 生命医療科 学専攻博 士後期課 程（3年 制）生命 医科学プ ログラム	6 生命医療科 学専攻博 士後期課 程（3年 制）生命 薬科学プ ログラム		
問 6-2. 学位取得 関心（博 士） × 問 7. 入学希望	合計	25 27.8	19 21.1	24 26.7	13 14.4	6 6.7	3 3.3	90 100.0	
	1 とても関心 がある	1 入学したい	4 22.2	7 38.9	3 16.7	1 5.6	2 11.1	1 5.6	18 100.0
		2 入学を検討する	10 55.6	1 5.6	2 11.1	2 11.1	2 11.1	1 5.6	18 100.0
		小計	14 38.9	8 22.2	5 13.9	3 8.3	4 11.1	2 5.6	36 100.0
	2 少し関心は ある	1 入学したい	3 23.1	0 0.0	10 76.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 100.0
		2 入学を検討する	7 21.2	11 33.3	6 18.2	6 18.2	2 6.1	1 3.0	33 100.0
		小計	10 21.7	11 23.9	16 34.8	6 13.0	2 4.3	1 2.2	46 100.0
	3 関心は無い	1 入学したい	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3 100.0
		2 入学を検討する	1 20.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0
		小計	1 12.5	0 0.0	3 37.5	4 50.0	0 0.0	0 0.0	8 100.0

<アンケート調査票>

和歌山県立医科大学大学院における医学薬学総合研究科（仮称）設置に関するアンケート調査票

和歌山県立医科大学では、大学院における教育研究の一層の発展を目的として、現行の医学研究科を医学・薬学を統合した医学薬学総合研究科（仮称）に改組するべく、準備を進めています。

このアンケート調査は、在学生の皆様が大学卒業後の進路等に関する意向や医学薬学総合研究科への興味・関心等についてお聞きし、今後の計画推進の基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、この調査票は無記名方式です。また、アンケート結果は統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表することや他の目的のために利用することはありません。

【和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科（設置構想中）の概要】

※いずれも予定であり変更する可能性があります。

- | | | | | |
|---------|-------------------|----------|-------------|-----------|
| 1. 名称 | 医学薬学総合研究科 | 生命医療学専攻 | (博士課程4年制) | 入学定員: 35名 |
| | | 生命医療科学専攻 | (博士前期課程2年制) | 入学定員: 14名 |
| | | | (博士後期課程3年制) | 入学定員: 7名 |
| 2. 開設時期 | 令和6年(2024年)4月 | | | |
| 3. 立地場所 | 紀三井寺キャンパス・伏虎キャンパス | | | |

【アクセス】紀三井寺キャンパス（医学系）：和歌山市紀三井寺 811 番地 1

●JR 紀三井寺駅より徒歩約7分

●JR 和歌山駅又は南海和歌山市駅から和歌山バス約18～25分「医大病院」又は「医大病院前」下車

【アクセス】伏虎キャンパス（薬学系）：和歌山市七番丁 25 番 1

●南海和歌山市駅から徒歩約15分

●JR 和歌山駅から和歌山バス約5分「和歌山城前」下車

南海和歌山市駅から和歌山バス約3分「公園前西」下車

4. 学 費 入学金 282,000 円 / 授業料 535,800 円

※近隣の類似する国公立大学（参考）：京都大学（医学研究科・薬学研究科）、大阪大学（医学系研究科・薬学研究科）

（回答は該当する番号を[回答欄]にご記入ください）

[回答欄]

問1 あなたが在籍する学部をお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 医学部 2 薬学部

問2 あなたの現在の学年についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 1年次生 2 2年次生 3 3年次生
4 4年次生 5 5年次生 6 6年次生

問3 あなたは博士の学位取得に関心をお持ちですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 とても関心がある 2 少し関心はある 3 関心は無い

裏面にお進みください。

問4 和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科では、入学から修了まで仕事を続けながら学ぶことが可能です。あなたは「和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科 生命医療学専攻 博士課程4年制（取得学位：博士（医学）又は博士（薬学）」への入学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 学部卒業後すぐに入学したい | 2 就職後落ち着いてから入学したい |
| 3 入学を検討する | 4 就職してから考える |
| 5 入学しない | 6 わからない |

問5 問4で「1」、「2」、「3」、「4」のいずれかを回答された方にお尋ねします。

あなたが医学薬学総合研究科生命医療学専攻博士課程4年制に入学するとした場合、入学を希望するプログラムはどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 先進医学プログラム（取得学位：博士（医学））
- 2 先進薬学プログラム（取得学位：博士（薬学））

問6 和歌山県立医科大学大学院の医学薬学総合研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。

***** これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。 *****

和歌山県立医科大学大学院における医学薬学総合研究科（仮称）設置に関するアンケート調査票

和歌山県立医科大学では、大学院における教育研究の一層の発展を目的として、現行の医学研究科を医学・薬学を統合した医学薬学総合研究科（仮称）に改組するべく、準備を進めています。

このアンケート調査は、宝塚医療大学和歌山保健医療学部在学生の皆様に大学卒業後の進路等に関する意向や和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科への興味・関心等についてお聞きし、今後の計画推進の基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、この調査票は無記名方式です。また、アンケート結果は統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表することや他の目的のために利用することはありません。

【和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科（設置構想中）の概要】

※いずれも予定であり変更する可能性があります。

- | | | | |
|---------|-------------------|-------------|----------|
| 1. 名 称 | 医学薬学総合研究科 生命医療学専攻 | (博士課程4年制) | 入学定員：35名 |
| | 生命医療科学専攻 | (博士前期課程2年制) | 入学定員：14名 |
| | | (博士後期課程3年制) | 入学定員：7名 |
| 2. 開設時期 | 令和6年(2024年)4月 | | |
| 3. 立地場所 | 紀三井寺キャンパス・伏虎キャンパス | | |

【アクセス】紀三井寺キャンパス（医学系）：和歌山市紀三井寺 811 番地 1

●JR 紀三井寺駅より徒歩約7分

●JR 和歌山駅又は南海和歌山市駅から和歌山バス約18～25分「医大病院」又は「医大病院前」下車

【アクセス】伏虎キャンパス（薬学系）：和歌山市七番丁 25 番 1

●南海和歌山市駅から徒歩約15分

●JR 和歌山駅から和歌山バス約5分「和歌山城前」下車

南海和歌山市駅から和歌山バス約3分「公園前西」下車

4. 学 費 入学金 282,000 円 / 授業料 535,800 円

※近隣の類似する国公立大学（参考）：京都大学（医学研究科・薬学研究科）、大阪大学（医学系研究科・薬学研究科）

（回答は該当する番号を[回答欄]にご記入ください）

[回答欄]

問1 あなたが在籍する学科（専攻）をお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 リハビリテーション学科（理学療法学専攻）
- 2 リハビリテーション学科（作業療法学専攻）
- 3 看護学科

問2 あなたの現在の学年についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 1年次生
- 2 2年次生
- 3 3年次生

問3 あなたは大学院進学に関心をお持ちですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 とても関心がある
- 2 少し関心はある
- 3 関心は無い

裏面にお進みください。

問4 和歌山県立医科大学大学院医学薬学総合研究科では、入学から修了まで仕事を続けながら学ぶことが可能です。あなたは「和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科 生命医療科学専攻博士前期課程2年制（取得学位：修士（医科学）又は修士（薬科学）」への入学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 学部卒業後すぐに入学したい | 2 就職後落ち着いてから入学したい |
| 3 入学を検討する | 4 就職してから考える |
| 5 入学しない | 6 わからない |

問5 問4で「1」、「2」、「3」、「4」のいずれかを回答された方にお尋ねします。

あなたが医学薬学総合研究科生命医療科学専攻博士前期課程2年制に入学するとした場合、入学を希望するプログラムはどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 生命医科学プログラム（取得学位：修士（医科学））
- 2 生命薬科学プログラム（取得学位：修士（薬科学））

問6 問4で「1」、「2」、「3」、「4」のいずれかを回答された方にお尋ねします。

あなたが医学薬学総合研究科生命医療科学専攻博士前期課程2年制に入学するとした場合、博士前期課程2年制修了後に博士後期課程3年制への進学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 進学を希望する
- 2 できれば進学したい
- 3 進学を希望しない
- 4 わからない

問7 和歌山県立医科大学大学院の医学薬学総合研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。

***** これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。 *****

修士課程在学学生対象

和歌山県立医科大学大学院における医学薬学総合研究科（仮称）設置に関するアンケート調査票

和歌山県立医科大学では、大学院における教育研究の一層の発展を目的として、現行の医学研究科を医学・薬学を統合した医学薬学総合研究科（仮称）に改組するべく、準備を進めています。

このアンケート調査は、医学研究科修士課程在学学生の皆様に修士課程修了後の進路等に関する意向や医学薬学総合研究科への興味・関心等についてお聞きし、今後の計画推進の基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、この調査票は無記名方式です。また、アンケート結果は統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表することや他の目的のために利用することはありません。

【和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科（設置構想中）の概要】

※いずれも予定であり変更する可能性があります。

- | | | | | |
|---------|-------------------|----------|-------------|----------|
| 1. 名称 | 医学薬学総合研究科 | 生命医療学専攻 | (博士課程4年制) | 入学定員：35名 |
| | | 生命医療科学専攻 | (博士前期課程2年制) | 入学定員：14名 |
| | | | (博士後期課程3年制) | 入学定員：7名 |
| 2. 開設時期 | 令和6年(2024年)4月 | | | |
| 3. 立地場所 | 紀三井寺キャンパス・伏虎キャンパス | | | |

【アクセス】紀三井寺キャンパス（医学系）：和歌山市紀三井寺 811 番地 1

●JR 紀三井寺駅より徒歩約7分

●JR 和歌山駅又は南海和歌山市駅から和歌山バス約18～25分「医大病院」又は「医大病院前」下車

【アクセス】伏虎キャンパス（薬学系）：和歌山市七番丁 25 番 1

●南海和歌山市駅から徒歩約15分

●JR 和歌山駅から和歌山バス約5分「和歌山城前」下車

南海和歌山市駅から和歌山バス約3分「公園前西」下車

4. 学 費 入学金 282,000 円 / 授業料 535,800 円

※近隣の類似する国公立大学（参考）：京都大学（医学研究科・薬学研究科）、大阪大学（医学系研究科・薬学研究科）

(回答は該当する番号を[回答欄]にご記入ください)

[回答欄]

問1 あなたの現在の学年についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 修士1年次生 2 修士2年次生

問2 あなたは博士の学位取得に関心をお持ちですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 とても関心がある 2 少し関心はある 3 関心は無い

問3 あなたは「和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科 生命医療科学専攻博士後期課程3年制（取得学位：博士（医科学）又は博士（薬科学）」への入学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 修士課程修了後すぐに入学したい
2 修士課程修了後しばらくしてから入学したい
3 入学を検討する
4 入学しない
5 わからない

裏面にお進みください。

問4 問3で「1」、「2」、「3」のいずれかを回答された方にお尋ねします。

あなたが医学薬学総合研究科生命医療科学専攻博士後期課程3年制に入学とした場合、入学を希望するプログラムはどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 生命医科学プログラム（取得学位：博士（医科学））
- 2 生命薬科学プログラム（取得学位：博士（薬科学））

問5 和歌山県立医科大学大学院の医学薬学総合研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。

***** これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。 *****

社会人対象

和歌山県立医科大学大学院における医学薬学総合研究科（仮称）設置に関する
社会人アンケート調査票

和歌山県立医科大学では、大学院における教育研究の一層の発展を目的として、現行の医学研究科を医学・薬学を統合した医学薬学総合研究科（仮称）に改組するべく、準備を進めています。

このアンケート調査は、皆様の医学薬学総合研究科への興味・関心等についてお聞きし、今後の計画推進の基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、この調査票は無記名方式です。また、アンケート結果は統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表することや他の目的のために利用することはありません。

【和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科（設置構想中）の概要】

※いずれも予定であり変更する可能性があります。

- | | | | | |
|--------|-----------|----------|-------------|----------|
| 1. 名 称 | 医学薬学総合研究科 | 生命医療学専攻 | (博士課程4年制) | 入学定員：35名 |
| | | 生命医療科学専攻 | (博士前期課程2年制) | 入学定員：14名 |
| | | | (博士後期課程3年制) | 入学定員：7名 |

2. 開設時期 令和6年（2024年）4月

3. 立地場所 紀三井寺キャンパス・伏虎キャンパス

【アクセス】紀三井寺キャンパス（医学系）：和歌山市紀三井寺 811 番地 1

●JR 紀三井寺駅より徒歩約7分

●JR 和歌山駅又は南海和歌山市駅から和歌山バス約18～25分「医大病院」又は「医大病院前」下車

【アクセス】伏虎キャンパス（薬学系）：和歌山市七番丁 25 番 1

●南海和歌山市駅から徒歩約15分

●JR 和歌山駅から和歌山バス約5分「和歌山城前」下車

南海和歌山市駅から和歌山バス約3分「公園前西」下車

4. 学 費 入学金 282,000 円 / 授業料 535,800 円

※近隣の類似する国公立大学（参考）：京都大学（医学研究科・薬学研究科）、大阪大学（医学系研究科・薬学研究科）

（回答は該当する番号を[回答欄]にご記入ください）

[回答欄]

問1 あなたがお住まいの地域についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

- | | | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 1 北海道 | 2 青森県 | 3 岩手県 | 4 宮城県 | 5 秋田県 | 6 山形県 | 7 福島県 |
| 8 茨城県 | 9 栃木県 | 10 群馬県 | 11 埼玉県 | 12 千葉県 | 13 東京都 | 14 神奈川県 |
| 15 新潟県 | 16 富山県 | 17 石川県 | 18 福井県 | 19 山梨県 | 20 長野県 | |
| 21 岐阜県 | 22 静岡県 | 23 愛知県 | 24 三重県 | | | |
| 25 滋賀県 | 26 京都府 | 27 大阪府 | 28 兵庫県 | 29 奈良県 | 30 和歌山県 | |
| 31 鳥取県 | 32 島根県 | 33 岡山県 | 34 広島県 | 35 山口県 | | |
| 36 徳島県 | 37 香川県 | 38 愛媛県 | 39 高知県 | | | |
| 40 福岡県 | 41 佐賀県 | 42 長崎県 | 43 熊本県 | 44 大分県 | 45 宮崎県 | |
| 46 鹿児島県 | 47 沖縄県 | | | | | |

問2 あなたの勤務先についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

- | | | | | |
|----------|------|------|------------|---|
| 1 病院・診療所 | 2 薬局 | 3 企業 | 4 その他（具体的に |) |
|----------|------|------|------------|---|

問3 あなたはどのような資格をお持ちですか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | | | |
|----------|------------|----------|---------|
| 1 医師 | 2 薬剤師 | 3 理学療法士 | 4 作業療法士 |
| 5 臨床検査技師 | 6 診療放射線技師 | 7 臨床工学技士 | |
| 8 資格なし | 9 その他（具体的に |) | |

問4 あなたがお持ちの学位等についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

- 1 博士 2 修士 3 専門職学位 4 学士
5 短期大学士・準学士 6 高度専門士・専門士・専門学校卒
7 その他（具体的に ）

問5 あなたは現在の職業に就いてどれほどの年数になりますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 1年未満 2 1年～3年未満 3 3年～5年未満
4 5年～10年未満 5 10年～20年未満 6 20年以上

問6 あなたは学位の取得について関心をお持ちですか。①修士の学位取得について、②博士の学位取得について、それぞれ下の選択肢から1つだけ選んでください。

- ① 修士の学位取得について ② 博士の学位取得について
1 とても関心がある 2 少し関心はある 3 関心は無い

問7 あなたは「和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科」への入学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 入学したい 2 入学を検討する 3 入学しない 4 わからない

問8 問7で「1」又は「2」を回答された方にお尋ねします。あなたが「和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科」へ入学するとした場合、仕事との関係についてはどのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 仕事を続けながら入学したい 2 休職して入学したい 3 退職して入学したい
4 わからない 5 その他（具体的に ）

問9 問7で「1」又は「2」を回答された方にお尋ねします。あなたが入学を希望する課程・プログラムはどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進医学プログラム（取得学位：博士（医学））
2 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進薬学プログラム（取得学位：博士（薬学））
3 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命医科学プログラム（取得学位：修士（医科学））
4 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命薬科学プログラム（取得学位：修士（薬科学））
5 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命医科学プログラム（取得学位：博士（医科学））
6 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命薬科学プログラム（取得学位：博士（薬科学））

問10 問9で「3」又は「4」を回答された方にお尋ねします。あなたが博士前期課程（2年制）を修了後、博士後期課程（3年制）への入学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 すぐに博士後期課程に入学したい 2 数年後には博士後期課程に入学したい
3 状況によっては博士後期課程の入学を考える 4 博士後期課程の入学は考えない
5 わからない 6 その他（具体的に ）

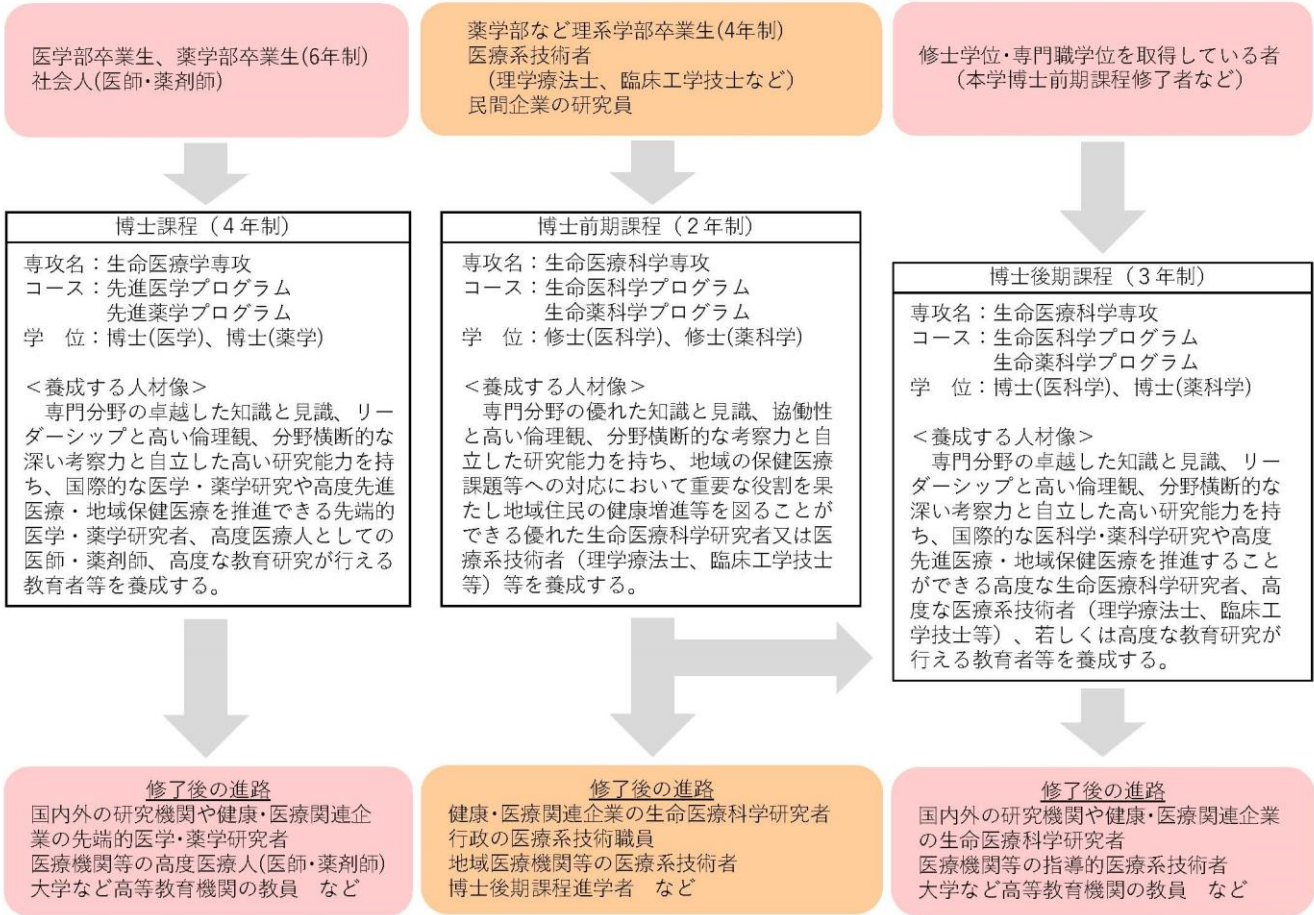
問11 和歌山県立医科大学大学院の医学薬学総合研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。



令和6年4月、現行医学研究科を改組し、医学薬学統合型の新大学院がスタートします。

医学・薬学の卓越した知識と見識、分野を超えた研究マインドを持ち合わせた地域でも世界でも活躍できる高度医療人・生命医療科学研究者の育成を行い、広く社会に貢献することを目指します。

入学～修了までのイメージ



カリキュラム一例

医学薬学統合型研究科の特性を生かし、専門分野の枠を超えた講義や研究指導を受けることが可能です。
・チーム医療 ・感染症学 ・腫瘍学 ・死因究明学 ・最新臨床薬理学 ・医薬品開発 ・最先端創薬科学

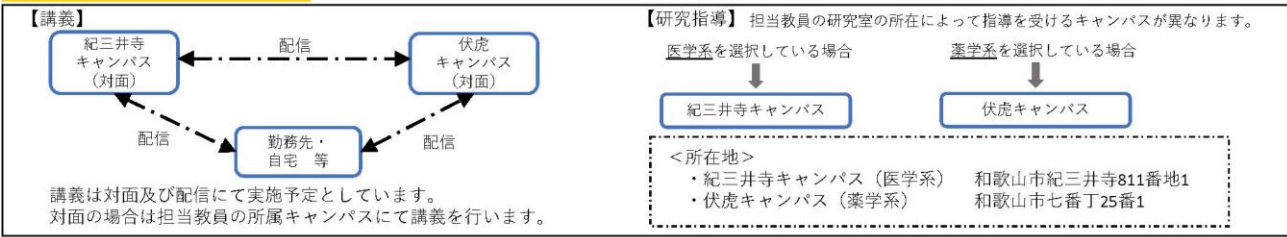
和歌山県立医科大学大学院への進学への主なメリット

- ・医学薬学統合型研究科の特性を生かした分野横断的な考察力や自立した研究能力を養うことができる。
- ・学部で学んだ知識を基に、卓越した知識と高い倫理観、幅広い観点から課題を発見し解決に向けて主導的に取り組む能力を養うことでチーム医療に必要な実践力が身に付く。
- ・夜間を基本としたカリキュラムにより、社会人の方も働きながら学位取得を目指すことができる。

※長期履修制度有り※

就労や研究時間確保などの理由により通常の修業年限内の修了が困難な方は、入学時に長期履修制度へ申請することにより最長で通常の修業年限を倍に延長することが可能です。
(例) 博士課程の場合 → 通常の修業年限4年を最長8年まで延長が可能 (納入する学費の総額は同額)

実施場所(キャンパス所在地)



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

【資料 2】

和歌山県立医科大学大学院における医学薬学総合研究科
(仮称) 設置に関する事業所アンケート

集 計 結 果

令和 4 年 12 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

<アンケート調査概要>	1
<アンケート調査結果要旨>	3
<アンケート集計結果>	9
<アンケート調査票>	17

＜アンケート調査概要＞

1. アンケート調査の目的

和歌山県立医科大学では、大学院における教育研究の一層の発展のため、現行の医学研究科を医学・薬学を統合した医学薬学総合研究科に改組することを計画し、準備を進めている。そこで、医学薬学総合研究科修了生の採用意向を把握するために、事業所を対象にアンケート調査を実施した。

2. 実施アンケート

「和歌山県立医科大学大学院における医学薬学総合研究科（仮称）設置に関する事業所アンケート調査」

3. 調査対象

和歌山県病院協会会員病院（81 事業所）、和歌山県内薬局（465 事業所）、全国製薬関係企業（554 事業所）

4. 調査実施

令和4年8月～9月に調査を実施した。

5. 調査方法

郵送によるアンケート調査票の配布及び回収、集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。また、Microsoft Forms を利用し、郵送及びWEB 回答どちらかを選択できるようにした。

6. 回収状況

回収件数：144 件

- ・ 郵送によるアンケート：121 件
- ・ WEB によるアンケート：23 件

＜アンケート調査結果要旨＞

【問1：回答事業所の種別】

回答事業所（144件）の種別について、「薬局」が71件（49.3%）と最も多く、次いで、「病院・診療所」41件（28.5%）、企業30件（20.8%）の順が続いている。

【問2：回答事業所の所在地】

回答事業所の所在地について、大学が立地予定の「和歌山県」が113件（78.5%）と最も多かった。次いで、「大阪府」が8件（5.6%）、「東京都」6件（4.2%）の順が続いている。

【問3：大学院修了生の採用関心】

① 修士の学位取得者について

「とても関心がある」27件（18.8%）、「少し関心はある」49件（34.0%）であった。

② 博士の学位取得者について

「とても関心がある」19件（13.2%）、「少し関心はある」46件（31.9%）であった。

【問4：従業員（職員）が在職のまま大学院へ進学することについて】

回答事業所の従業員（職員）が在職のまま大学院へ進学することに関する考えについて、「どちらとも言えない」60件（41.7%）が最も多く、「どちらかと言えば奨励したい」33件（22.9%）、「大いに奨励したい」21件（14.6%）の順に続き、「どちらかと言えば奨励しない」「まったく奨励しない」が共に15件（10.4%）であった。

【問5：修了生の採用意向】

① 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進医学プログラム修了生（取得学位：博士（医学））

「採用したい」9件（6.3%）、「採用を検討する」40件（27.8%）であった。「採用したい」、「採用を検討する」の肯定的な回答を合計すると、49件（34.0%）であった。

②生命医療学専攻博士課程（4年制）先進薬学プログラム修了生（取得学位：博士（薬学））

「採用したい」12件（8.3%）、「採用を検討する」48件（33.3%）であった。「採用したい」、「採用を検討する」の肯定的な回答を合計すると、60件（41.6%）であった。

③生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命医科学プログラム修了生（取得学位：修士（医科学））

「採用したい」9件（6.3%）、「採用を検討する」37件（25.7%）であった。「採用したい」、「採用を検討する」の肯定的な回答を合計すると、46件（32.0%）であった。

④生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命薬科学プログラム修了生（取得学位：修士（薬科学））

「採用したい」13件（9%）、「採用を検討する」51件（35.4%）であった。「採用したい」、「採用を検討する」の肯定的な回答を合計すると、64件（44.4%）であった。

⑤生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命医科学プログラム修了生（取得学位：博士（医科学））

「採用したい」9件（6.3%）、「採用を検討する」36件（25.0%）であった。「採用したい」、「採用を検討する」の肯定的な回答を合計すると、45件（31.3%）であった。

⑥生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命薬科学プログラム修了生（取得学位：博士（薬科学））

「採用したい」12件（8.3%）、「採用を検討する」49件（34.0%）であった。「採用したい」、「採用を検討する」の肯定的な回答を合計すると、61件（42.3%）であった。

【 問6：自由記述 】

回答のあった144事業所のうち15事業所から自由記述の回答を得ることができた（P.15参照）。

【参考資料：問5採用ニーズ関連項目（課程毎の採用希望人数）】

修士課程4年制（入学定員35名）の採用希望者数は、問5-①、問5-②を合計すると109件であった。

博士前期課程2年制（入学定員14名）の採用希望者数は、問5-③、問5-④を合計すると110件であった。

博士後期課程3年制（入学定員7名）の採用希望者数は、問5-⑤、問5-⑥を合計すると106件であった。

博士課程4年制（入学定員35名）の採用希望者数

設問	選択肢	回答件数
事業所対象調査 問5-① 博士課程4年制先進医学プログラム 修了生の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。	1 採用したい	9
	2 採用を検討する	40
事業所対象調査 問5-② 博士課程4年制先進薬学プログラム 修了生の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。	1 採用したい	12
	2 採用を検討する	48
計		109

博士前期課程 2 年制（入学定員 14 名）の採用希望者数

設問	選択肢	回答件数
事業所対象調査 問 5-③ 博士前期課程 2 年制生命医科学プログラム 修了生の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。	1 採用したい	9
	2 採用を検討する	37
事業所対象調査 問 5-④ 博士前期課程 2 年制生命薬科学プログラム 修了生の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。	1 採用したい	13
	2 採用を検討する	51
計		110

博士後期課程 3 年制（入学定員 7 名）の採用希望者数

設問	選択肢	回答件数
事業所対象調査 問 5-⑤ 博士後期課程 3 年制生命医科学プログラム 修了生の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。	1 採用したい	9
	2 採用を検討する	36
事業所対象調査 問 5-⑥ 博士後期課程 3 年制生命薬科学プログラム 修了生の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。	1 採用したい	12
	2 採用を検討する	49
計		106

＜アンケート集計結果＞

和歌山県立医科大学大学院における医学薬学総合研究科（仮称）設置に関する事業所
アンケート集計表

〔有効回答票：144 票〕

問1 貴事業所の種別についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 病院・診療所	41	28.5
2 薬局	71	49.3
3 企業	30	20.8
4 その他	2	1.4
合計	144	100.0

（「4 その他」の回答）

人事担当者
医薬品製造業

問2 貴事業所の所在地についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%		件数	%
1 北海道	0	0.0	25 滋賀県	1	0.7
2 青森県	0	0.0	26 京都府	0	0.0
3 岩手県	0	0.0	27 大阪府	8	5.6
4 宮城県	0	0.0	28 兵庫県	1	0.7
5 秋田県	0	0.0	29 奈良県	1	0.7
6 山形県	0	0.0	30 和歌山県	113	78.5
7 福島県	0	0.0	31 鳥取県	0	0.0
8 茨城県	0	0.0	32 島根県	0	0.0
9 栃木県	0	0.0	33 岡山県	2	1.4
10 群馬県	0	0.0	34 広島県	1	0.7
11 埼玉県	0	0.0	35 山口県	0	0.0
12 千葉県	0	0.0	36 徳島県	0	0.0
13 東京都	6	4.2	37 香川県	1	0.7
14 神奈川県	1	0.7	38 愛媛県	1	0.7
15 新潟県	0	0.0	39 高知県	0	0.0
16 富山県	3	2.1	40 福岡県	0	0.0
17 石川県	0	0.0	41 佐賀県	0	0.0
18 福井県	0	0.0	42 長崎県	0	0.0
19 山梨県	0	0.0	43 熊本県	0	0.0
20 長野県	0	0.0	44 大分県	0	0.0
21 岐阜県	0	0.0	45 宮崎県	0	0.0
22 静岡県	1	0.7	46 鹿児島県	0	0.0
23 愛知県	4	2.8	47 沖縄県	0	0.0
24 三重県	0	0.0	合計	144	100.0

問3 貴事業所では大学院修了生の採用について関心がありますか。①修士の学位取得者について、②博士の学位取得者について、それぞれ下の選択肢から1つだけ選んでください。

① 修士の学位取得者について

	件数	%
1 とても関心がある	27	18.8
2 少し関心はある	49	34.0
3 関心は無い	63	43.8
不明	5	3.5
合計	144	100

② 博士の学位取得者について

	件数	%
1 とても関心がある	19	13.2
2 少し関心はある	46	31.9
3 関心は無い	79	54.9
不明	0	0.0
合計	144	100

問4 貴事業所では、従業員（職員）が在職のまま大学院へ進学することについて、どのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

	件数	%
1 大いに奨励したい	21	14.6
2 どちらかと言えば奨励したい	33	22.9
3 どちらとも言えない	60	41.7
4 どちらかと言えば奨励しない	15	10.4
5 まったく奨励しない	15	10.4
合計	144	100.0

問5 貴事業所では「和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科」の修了生の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。①から⑥について、それぞれ下の選択肢から1つだけ選んでください。

① 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進医学プログラム修了生

（取得学位：博士（医学））

	件数	%
1 採用したい	9	6.3
2 採用を検討する	40	27.8
3 採用しない	39	27.1
4 わからない	54	37.5
不明	2	1.4
合計	144	100

② 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進薬学プログラム修了生

（取得学位：博士（薬学））

	件数	%
1 採用したい	12	8.3
2 採用を検討する	48	33.3
3 採用しない	24	16.7
4 わからない	57	39.6
不明	3	2.1
合計	144	100

③ 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命医科学プログラム修了生

（取得学位：修士（医科学））

	件数	%
1 採用したい	9	6.3
2 採用を検討する	37	25.7
3 採用しない	38	26.4
4 わからない	56	38.9
不明	4	2.8
合計	144	100

④ 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命薬科学プログラム修了生

（取得学位：修士（薬科学））

	件数	%
1 採用したい	13	9.0
2 採用を検討する	51	35.4
3 採用しない	21	14.6
4 わからない	56	38.9
不明	3	2.1
合計	144	100

⑤ 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命医科学プログラム修了生

（取得学位：博士（医科学））

	件数	%
1 採用したい	9	6.3
2 採用を検討する	36	25.0
3 採用しない	38	26.4
4 わからない	57	39.6
不明	4	2.8
合計	144	100

⑥ 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命薬科学プログラム修了生

（取得学位：博士（薬科学））

	件数	%
1 採用したい	12	8.3
2 採用を検討する	49	34.0
3 採用しない	23	16.0
4 わからない	57	39.6
不明	3	2.1
合計	144	100

問6 和歌山県立医科大学大学院の医学薬学総合研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。（省略）

<アンケート調査票>

和歌山県立医科大学大学院における医学薬学総合研究科（仮称）設置に関する 事業所アンケート調査票

和歌山県立医科大学では、大学院における教育研究の一層の発展を目的として、現行の医学研究科を医学・薬学を統合した医学薬学総合研究科（仮称）に改組するべく、準備を進めています。

このアンケート調査は、事業所の皆様に医学薬学総合研究科修了生の採用意向等についてお聞きし、今後の計画推進の基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。

なお、この調査票は無記名方式です。また、アンケート結果は統計資料としてのみ用い、個票を外部に公表することや他の目的のために利用することはありません。

【和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科（設置構想中）の概要】

※いずれも予定であり変更する可能性があります。

- | | | | | |
|---------|-------------------|----------|-------------|----------|
| 1. 名 称 | 医学薬学総合研究科 | 生命医療学専攻 | (博士課程4年制) | 入学定員：35名 |
| | | 生命医療科学専攻 | (博士前期課程2年制) | 入学定員：14名 |
| | | | (博士後期課程3年制) | 入学定員：7名 |
| 2. 開設時期 | 令和6年（2024年）4月 | | | |
| 3. 立地場所 | 紀三井寺キャンパス・伏虎キャンパス | | | |

【アクセス】紀三井寺キャンパス（医学系）：和歌山市紀三井寺 811 番地 1

●JR 紀三井寺駅より徒歩約7分

●JR 和歌山駅又は南海和歌山市駅から和歌山バス約18～25分「医大病院」又は「医大病院前」下車

【アクセス】伏虎キャンパス（薬学系）：和歌山市七番丁 25 番 1

●南海和歌山市駅から徒歩約15分

●JR 和歌山駅から和歌山バス約5分「和歌山城前」下車

南海和歌山市駅から和歌山バス約3分「公園前西」下車

回答は該当する番号を[回答欄]にご記入ください

[回答欄]

問1 貴事業所の種別についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 病院・診療所 2 薬局 3 企業 4 その他（具体的に

問2 貴事業所の所在地についてお尋ねします。次の中から1つだけ選んでください。

- | | | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 1 北海道 | 2 青森県 | 3 岩手県 | 4 宮城県 | 5 秋田県 | 6 山形県 | 7 福島県 |
| 8 茨城県 | 9 栃木県 | 10 群馬県 | 11 埼玉県 | 12 千葉県 | 13 東京都 | 14 神奈川県 |
| 15 新潟県 | 16 富山県 | 17 石川県 | 18 福井県 | 19 山梨県 | 20 長野県 | |
| 21 岐阜県 | 22 静岡県 | 23 愛知県 | 24 三重県 | | | |
| 25 滋賀県 | 26 京都府 | 27 大阪府 | 28 兵庫県 | 29 奈良県 | 30 和歌山県 | |
| 31 鳥取県 | 32 島根県 | 33 岡山県 | 34 広島県 | 35 山口県 | | |
| 36 徳島県 | 37 香川県 | 38 愛媛県 | 39 高知県 | | | |
| 40 福岡県 | 41 佐賀県 | 42 長崎県 | 43 熊本県 | 44 大分県 | 45 宮崎県 | |
| 46 鹿児島県 | 47 沖縄県 | | | | | |

裏面にお進みください。

問3 貴事業所では大学院修了生の採用について関心がありますか。①修士の学位取得者について、②博士の学位取得者について、それぞれ下の選択肢から1つだけ選んでください。

① 修士の学位取得者について

② 博士の学位取得者について

- 1 とても関心がある 2 少し関心はある 3 関心は無い

問4 貴事業所では、従業員（職員）が在職のまま大学院へ進学することについて、どのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 大いに奨励したい 2 どちらかと言えば奨励したい 3 どちらとも言えない
4 どちらかと言えば奨励しない 5 まったく奨励しない

問5 貴事業所では「和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科」の修了生の採用について、どのようなお考えをお持ちですか。①から⑥について、それぞれ下の選択肢から1つだけ選んでください。

- 1 採用したい 2 採用を検討する 3 採用しない 4 わからない

① 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進医学プログラム修了生

（取得学位：博士（医学））

② 生命医療学専攻博士課程（4年制）先進薬学プログラム修了生

（取得学位：博士（薬学））

③ 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命医科学プログラム修了生

（取得学位：修士（医科学））

④ 生命医療科学専攻博士前期課程（2年制）生命薬科学プログラム修了生

（取得学位：修士（薬科学））

⑤ 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命医科学プログラム修了生

（取得学位：博士（医科学））

⑥ 生命医療科学専攻博士後期課程（3年制）生命薬科学プログラム修了生

（取得学位：博士（薬科学））

問6 和歌山県立医科大学大学院の医学薬学総合研究科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。



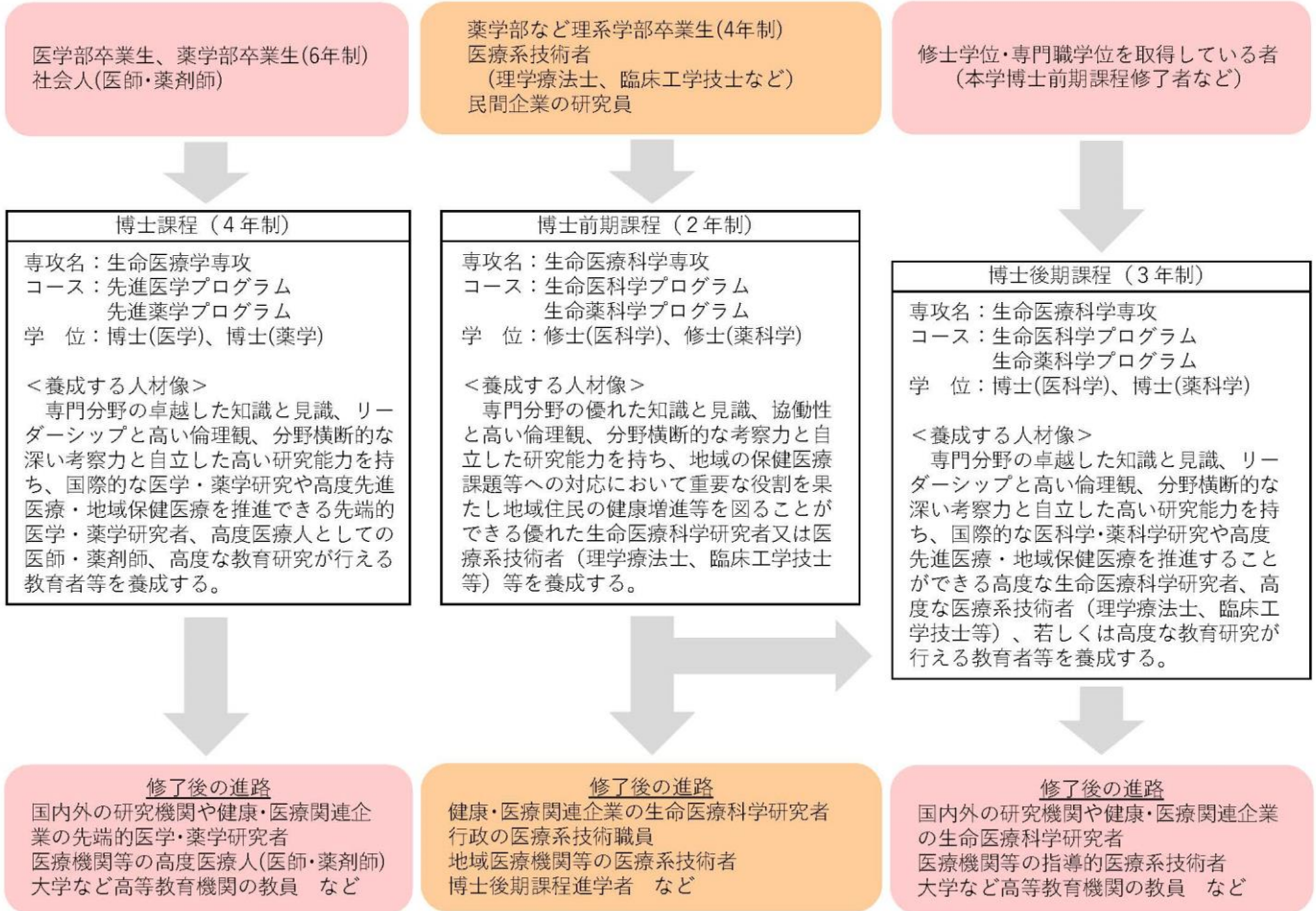
医学薬学総合研究科

設置構想中
令和6年4月開設予定

令和6年4月、現行医学研究科を改組し、医学薬学統合型の新大学院がスタートします。

医学・薬学の卓越した知識と見識、分野を超えた研究マインドを持ち合わせた地域でも世界でも活躍できる高度医療人・生命医療科学研究者の育成を行い、広く社会に貢献することを目指します。

入学～修了までのイメージ



カリキュラム一例

医学薬学統合型研究科の特性を生かし、専門分野の枠を超えた講義や研究指導を受けることが可能です。
・チーム医療 ・感染症学 ・腫瘍学 ・死因究明学 ・最新臨床薬理学 ・医薬品開発 ・最先端創薬科学

和歌山県立医科大学大学院への進学的主要なメリット

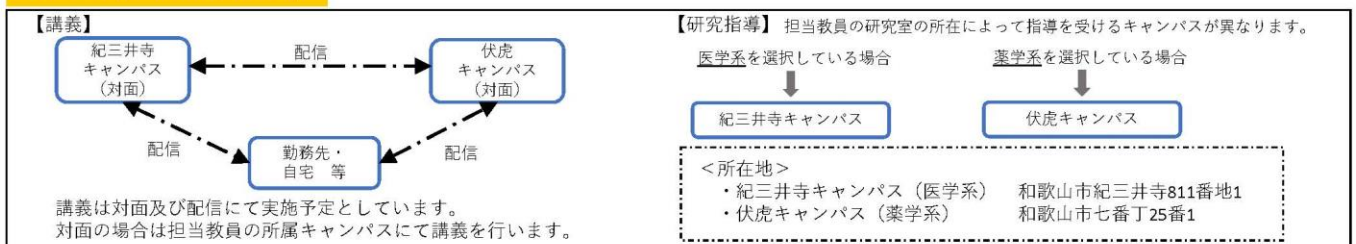
- ・医学薬学統合型研究科の特性を生かした分野横断的な考察力や自立した研究能力を養うことができる。
- ・学部で学んだ知識を基に、卓越した知識と高い倫理観、幅広い観点から課題を発見し解決に向けて主導的に取り組む能力を養うことでチーム医療に必要な実践力が身に付く。
- ・夜間を基本としたカリキュラムにより、社会人の方も働きながら学位取得を目指すことができる。

※長期履修制度有り※

就労や研究時間確保などの理由により通常の修業年限内での修了が困難な方は、入学時に長期履修制度へ申請することにより最長で通常の修業年限を倍に延長することが可能です。

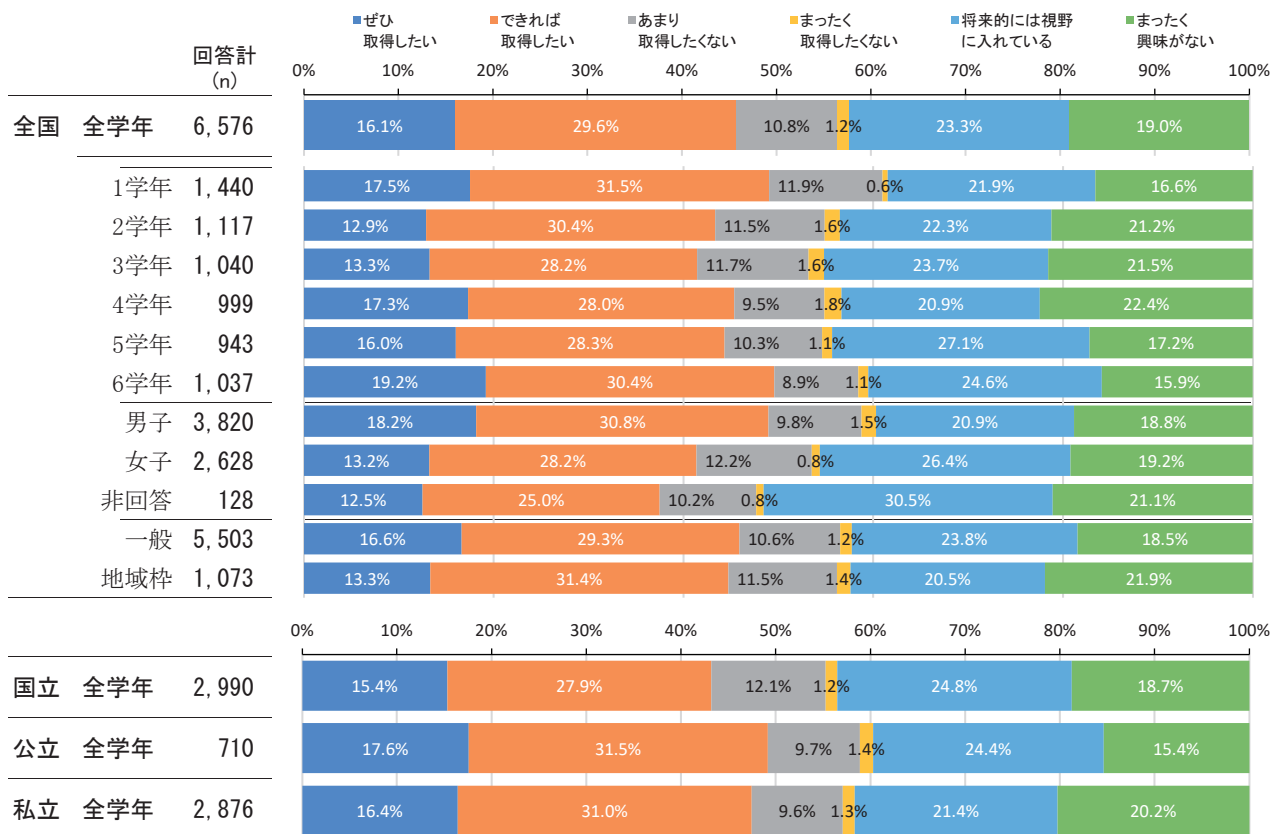
(例) 博士課程の場合 → 通常の修業年限4年を最長8年まで延長が可能 (納入する学費の総額は同額)

実施場所(キャンパス所在地)

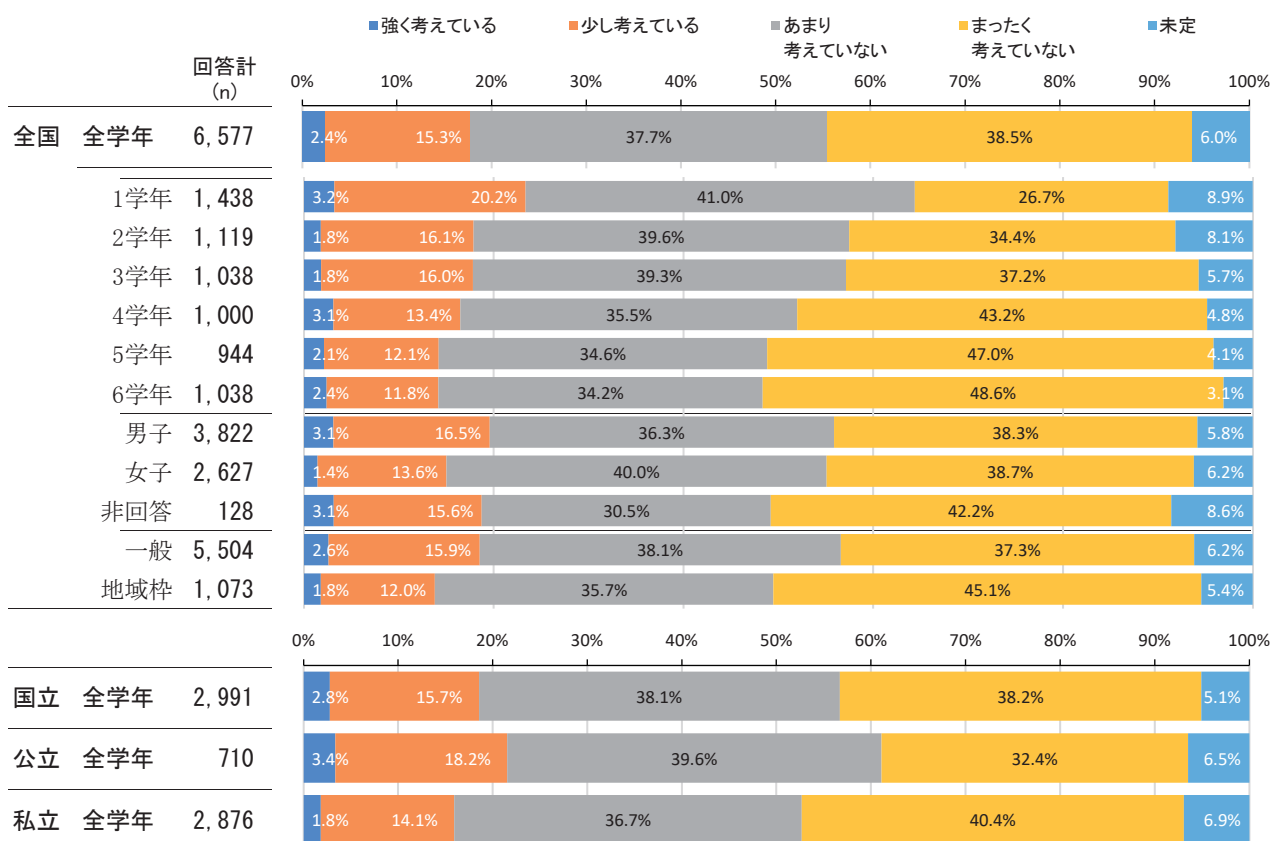


上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

設問11. 将来、博士(医学)の学位取得を目指していますか。



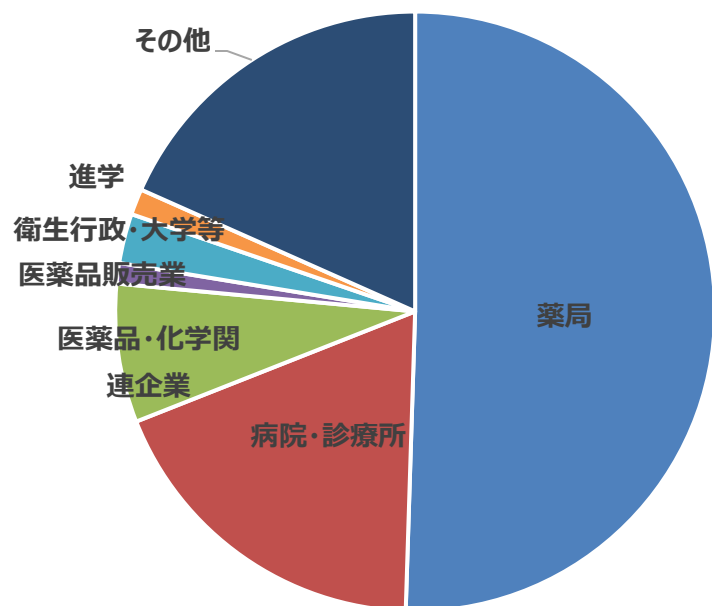
設問12. 将来、基礎医学研究者になることを考えていますか。



令和3年3月薬系大学6年制学科卒業生就職動向

区分	薬局	病院・診療所	医薬品・化学 関連企業	医薬品販売業	衛生行政・ 大学等	進学	その他	計
国立	120 (25.0%)	131 (27.3%)	102 (21.3%)	48 (10.0%)	43 (9.0%)	18 (3.8%)	18 (3.8%)	480 (100%)
公立	68 (30.9%)	53 (24.1%)	60 (27.3%)	0 (0.0%)	18 (8.2%)	6 (2.7%)	15 (6.8%)	220 (100%)
私立	4,801 (52.3%)	1,645 (17.9%)	576 (6.3%)	61 (0.7%)	203 (2.2%)	114 (1.2%)	1,779 (19.4%)	9,179 (100%)
全体	4,989 (50.5%)	1,829 (18.5%)	738 (7.5%)	109 (1.1%)	264 (2.7%)	138 (1.4%)	1,812 (18.3%)	9,879 (100%)

単位：人



【細分類】

〔医薬品販売業〕ドラッグストア、卸売販売業等

〔医薬品・化学関連企業〕開発・学術、医薬品情報担当、研究・試験・製造、その他

〔行政・大学等〕衛生行政（国家公務員・地方公務員）、大学、試験研究機関

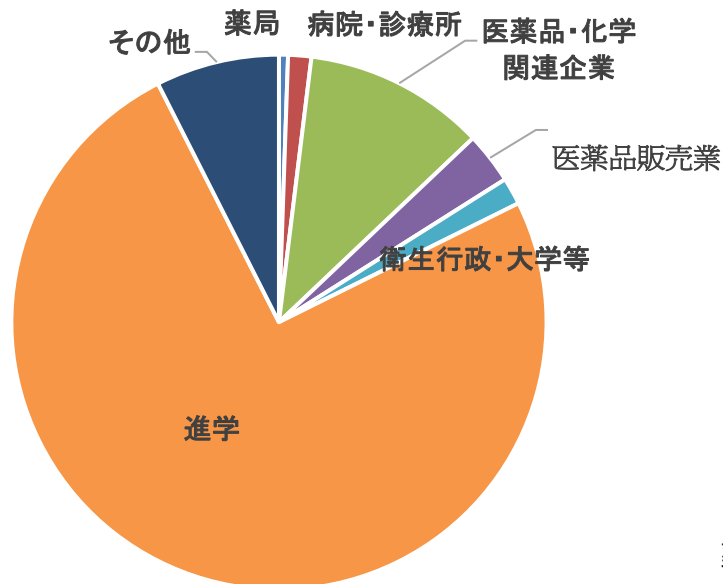
〔その他〕その他の職業、研究生、就職せず、未定（未報告を含む）

薬学教育協議会「薬系大学卒業生・大学院修了者の就職動向調査の集計報告」より

令和3年3月薬系大学4年制学科卒業生就職動向

区分	薬局	病院・診療所	医薬品・化学関連企業	医薬品販売業	衛生行政・大学等	進学	その他	計
国立	0 (0.0%)	2 (0.3%)	27 (4.2%)	2 (0.3%)	8 (1.2%)	591 (91.2%)	18 (2.8%)	648 (100%)
公立	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	79 (97.5%)	0 (0.0%)	81 (100%)
私立	7 (1.3%)	16 (2.9%)	112 (20.1%)	38 (6.8%)	13 (2.3%)	292 (52.3%)	80 (14.3%)	558 (100%)
全体	7 (0.5%)	18 (1.4%)	141 (11.0%)	40 (3.1%)	21 (1.6%)	962 (74.7%)	98 (7.6%)	1,287 (100%)

単位:人



【細分類】

〔医薬品販売業〕ドラッグストア、卸売販売業等

〔医薬品・化学関連企業〕開発・学術、医薬品情報担当、研究・試験・製造、その他

〔衛生行政・大学等〕衛生行政、企業（開発・学術、営業等）、その他

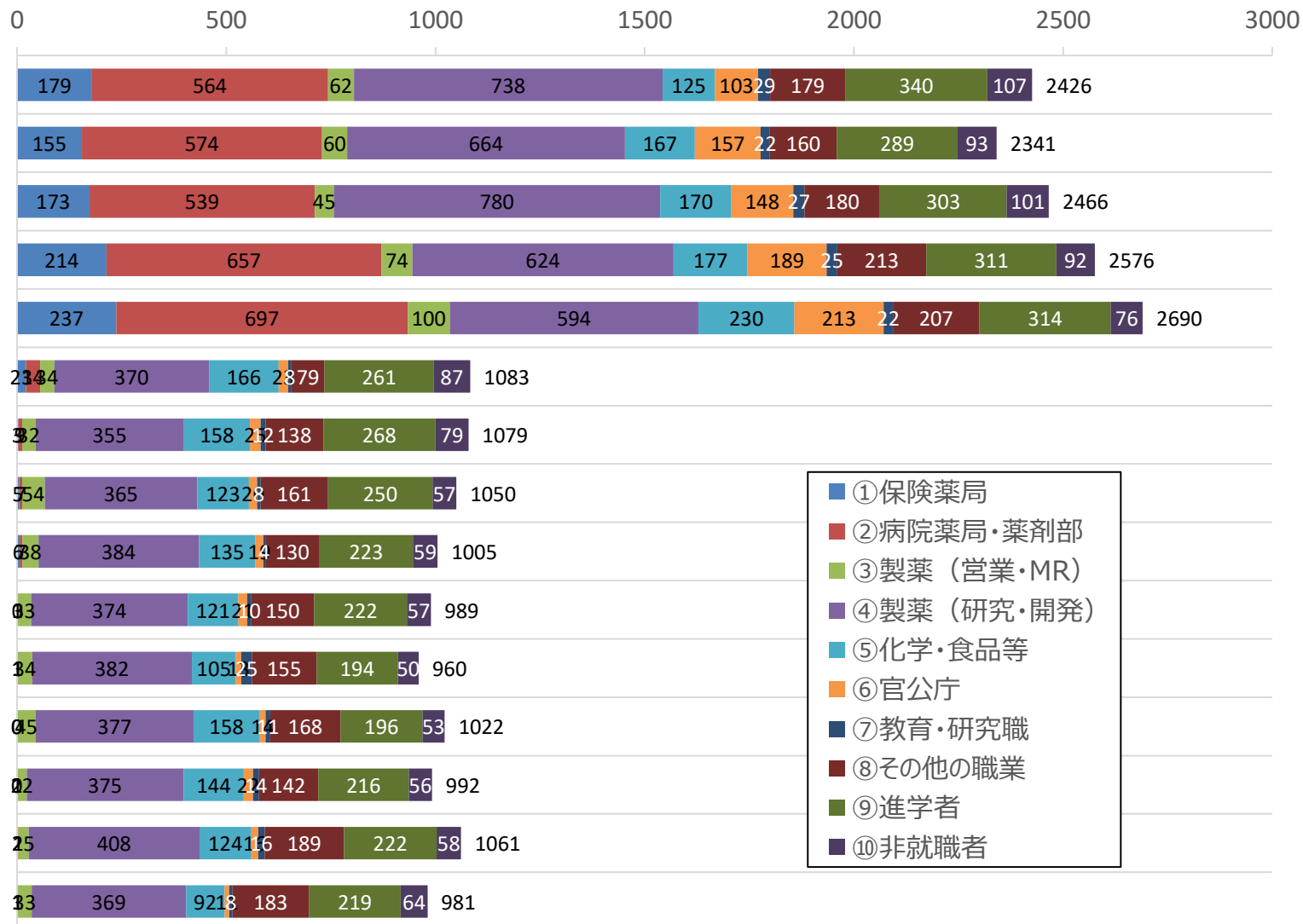
〔その他〕研究生、就職せず、未定、その他

薬系大学院修士課程修了者就職動向の推移

<単位:人>

旧4年制学科を基礎に置くもの

新4年制学科を基礎に置くもの



薬系大学院博士課程修了者就職動向の推移

旧4年制学科を基礎に置くもの

新4年制学科又は6年制学科を基礎に置くもの

<単位:人>

